

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート

【平成28年度（上半期）】

1	農業分野	1
2	林業分野	15
3	水産業分野	23
4	商工業分野	29
5	観光分野	42

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 <数量的に見える形で具体的に記載>	下半期の取り組み予定 <内容を具体的に記載>	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
農業分野					
1 産地としての維持・強化					
1. 戦略品目の生産拡大					
(1)ぶしゆかんの産地づくり					
○生産量の拡大と産地化の推進	○ぶしゆかん産地化・普及推進事業 地方創生推進交付金を活用 8月～ 新規定植予定のほ場について適地現地確認 ○生産者組織の設立と活動支援 5月 四万十ぶしゆかん生産者組合設立総会 組合員数 22名(うち団体数 2) ○ぶしゆかん集出荷支援 (実施主体:四万十ぶしゆかん生産者組合) 地方創生推進交付金を活用 8月～10月 ・集出荷支援(人件費等への補助) ・出荷基準検討会の実施 ※収穫体制として多機能事業所「アオ」と連携 ○栽培現地検討会実施(4月・7月) ・栽培管理指導等 ・文書にて栽培管理指導(日照り対策)	○ぶしゆかん産地化・普及推進事業 9月～ 新規定植(苗代の補助)2,250本 450a(ほ場29カ所) H28年度末 4,759本 ・有害鳥獣防護柵(設置への補助) 4,813m(15カ所) ○ぶしゆかん産地化推進計画の策定 目標栽培面積・生産量、青玉の流通(選果体制)、加工 施設整備の実施計画 ※市・振興センター・生産者組織・加工業者等で協議 ○生産体制及び衛生管理体制の強化 (実施主体:四万十ぶしゆかん(株)) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 11月～ 加工設備等機材導入 ・洗浄ライン機器、ろ過機等) ・集荷場、資材倉庫、冷凍庫施設整備	四万十市 (農林水産課・観光商工課) 生産者 事業者	◆ぶしゆかん新植面積 H26:0.9ha →H31:12ha H27:4.9ha ◆ぶしゆかん生産量 H26:13t →H31:54t H27:16t (周辺農家買取分1t含む)	【課題】 ○適正な衛生管理等HACCPに対応した加工施設や設備等の増強 ○安定した販路の確保 ○青果のブランド化に対する生産者の共通認識の確立(組織化) ○四万十川のブランドイメージに見合う無農薬等の栽培基準の制定
◎認知度向上、販路開拓、ブランド化の取組み	○ぶしゆかん産地化・普及推進事業 地方創生推進交付金を活用 8月 四万十ぶしゆかんPR活動 普及活動に活用できる四万十ぶしゆかんPVが閲覧できる QRコード入のポスター及びリーフレットを作成しPR 9月 ぶしゆかん青玉キャンペーン 首都圏の高級スーパー、百貨店(延べ6箇所)で配布、加工品の試食等を実施 【商工業・観光分野共通】 ○四万十ぶしゆかん普及推進事業 (主催:四万十ぶしゆかん生産者組合) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 8月 ぶしゆかんヌーボ解禁パーティー ○ぶしゆかん効能成分分析研究 9月 化粧品への利用を視野に製薬会社へ成分分析結果等聞き取り(株)サティス製薬:東京都江東区) ○その他PRの取り組み 4月～ 四万十ぶしゆかんPVスタンドPOP 市内飲食店・宿泊施設に配布しPR 6～7月 四万十ぶしゆかんTV-CM展開 (実施主体:四万十ぶしゆかん(株)) 9月 中村地域の全小中学校で給食の献立に青果を使用してPR	○地理的表示保護制度(GI)登録に向けた調査研究 ※地域で育まれた農産物の伝統と品質基準を守る証(国が地域の特産品の「名称」を知的財産として保護) ○その他PRの取り組み ・10月 市内小中学校での学習会の実施 ・10月、11月 物産展でのPR活動 ・11月～ TVCM制作費、WEBプロモーション (事業主体:四万十ぶしゆかん(株)) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用			

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 <数量的に見える形で具体的に記載>	下半期の取り組み予定 <内容を具体的に記載>	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
農業分野					
(2)ゆずの産地化促進					
○生産性の向上 ○隔年結果の低減や青果率、秀品率の向上 ◎「四万十ゆず」のブランド化の推進	○水田転換ゆず定例会の実施(4月・6月・7月) 栽培管理指導、出荷検討(対象農家:10戸) ○8月 ゆず青玉の目慣らし会 ○連携した取り組みの推進 高知県ゆず振興対策協議会への負担金 26千円 ○ゆず加工品の販売促進(事業主体:JA高知はた) 市内イベント等に出店販売 ○「四万十ゆず」の地域団体商標登録に向けた取り組みの推進 (事業主体:JA高知はた ※H29年度出願予定) 認知度向上に向けた取組実施(「四万十ゆず」と段ボールに記載する等)	○水田転換ゆず定例会の実施 ○ゆず加工品の販売促進(事業主体:JA高知はた) 物産展・商談会(スーパーマーケットトレードショー)へ出展 ○「四万十ゆず」の地域団体商標登録に向けた取り組みの推進 (事業主体:JA高知はた ※H29年度出願予定) 認知度向上に向けた取組実施(「四万十ゆず」と段ボールに記載する等)	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知はた 生産者 事業者	◆ゆず栽培面積 H26:42.5ha →H31:42.5haを維持 H27:42.5ha ◆ゆず生産量 H26:445t →H31:445tを維持 H27:310t	【課題】 ○老木化が著しい樹園地における改植等の実施 ○加工品の販路の確保、新商品の開発
(3)栗の産地再生					
○栗園の再生 ○集出荷の支援 ◎「四万十栗」のブランド化の推進	○中山間地域集出荷支援事業 (事業主体:JA高知はた) 地方創生推進交付金を活用 6月～ 栗をはじめ園芸作物等の集出荷を円滑に推進 ○四万十栗生産・加工・販売促進再生事業 (事業主体:株式会社美野里) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 9月～ 集出荷支援、作業道整備、獣害対策網設置	○栗活性化プロジェクト (事業主体:JA高知はた) 1月～ ・新規定植(苗木代の補助) 1,500本 3.75ha ・縮間伐作業(人件費等の補助) 2.0ha ○四万十栗生産・加工・販売促進再生事業 (事業主体:株式会社美野里) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 9月～ 集出荷支援、作業道整備、獣害対策網設置 1月～ 縮間伐等作業 2月～ 新改植作業	四万十市 (産業建設課) JA高知はた 生産者 事業者	◆栗栽培面積 H26:39.5ha →H31:47.0ha H27:41.59ha ◆栗生産量 H26:15.1t →H31:60t H27:22.1t	【課題】 ○栗園拡大に伴う樹園地の管理及び収穫作業等における労働力と担い手の確保
(4)有望品目の産地強化					
◎地域に根づいた有望品目による産地の育成・強化	○産業振興補助事業(農業生産物品質向上事業) 6月～ 篤農家(米ナス)による新規生産者等への栽培技術指導 ○レンタルハウス整備事業 4月 レンタルハウス整備事業地域協議会(高度化) 8月 高度化ハウス完成(3,024㎡、入田、新規) ○園芸ハウス整備事業 既存ハウスを修繕(6件) 4月 大葉農家2件 交付決定し7月事業完了 8月 生姜農家 交付決定 11月完了予定 8月 いちご農家 交付決定 10月完了予定 9月 生姜農家2件 交付決定予定	○レンタルハウス整備事業 11月 資金計画作成支援 レンタルハウス整備事業地域協議会(高度化) 2月 高度化ハウス完成予定(2,500㎡、入田、拡大) ○園芸ハウス整備事業 事業の完了確認等	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知はた 四万十農園あぐりっこ 西土佐農業公社 集落営農組織 公益社団法人四万十市中村野菜価格安定基金協会 園芸作物価格安定基金評議会 生産者	◆有望品目の安定生産や新規品目が地域内で定着し、安定した農業経営につながっている。	【課題】 ○中村、西土佐地域の園芸作物を一元的に補償する仕組みの構築

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度】

分野		上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
農業分野		<p>○燃料タンク対策事業 南海トラフ地震による二次災害発生リスクを軽減するため、園芸ハウス加温燃料タンクを流出防止付きタンクへ置換え 7月 事業導入検討会、8月 交付申請、9月 交付決定 事業量:2基(鍋島地区)</p>	<p>○燃料タンク対策事業 10月 着工、12月 竣工</p>			
○新規品目導入の支援	<p>○新規作物導入試作支援事業(実施主体:農業公社等) 4月～ 栽培実証及び販売促進等を支援 ①茎ブロッコリー試験栽培(雨よけ12a、露地5a) ②雨よけ米ナス試験栽培(前進化簡易ハウス3a) ③雨よけいごっそうナス試験栽培(前進化簡易ハウス1a) ④日本産マカの試験栽培(露地4a) ⑤らっかせい(露地6a) ⑥フルーツたまねぎ(雨よけ4a)</p> <p>○新規品目導入の支援 わさび栽培実証プラントの整備について、適地を選択するため、佐田、口鴨川で試掘調査 調査の結果水量不足等で佐田、口鴨川とも不適と判断</p>	<p>○新規作物導入試作支援事業(実施主体:農業公社等) 9月～ 栽培実証及び販売促進等を支援 ①四万十春菴試験栽培(露地5a) ②日本産マカの試験栽培(露地6a)</p> <p>○新規品目導入の支援 引き続き適地の調査を行い、適地が見つければ、実験プラント整備に向けて準備を行う。</p>				
○野菜価格安定制度による経営支援	<p>○園芸産地リフレッシュ資金利子補給 9月 上半期利子補給</p> <p>○野菜価格安定事業 平成27年価格安定補給金支払 対象品目(中村地域):オクラ・シントウ・ナバナ 874千円</p> <p>○園芸作物価格安定事業 6月 園芸作物価格安定基金評議会開催 補償単価の決定、仕組みの見直しにかかる意見聴取等</p>	<p>○園芸産地リフレッシュ資金利子補給 2月 下半期利子補給</p> <p>○野菜価格安定事業 平成28年価格補給金支払</p> <p>○園芸作物価格安定事業 ・評議会の開催及び新しい仕組みの提案、構築 ・園芸作物価格差補給金の支払</p>				
2. 生産性の高い栽培技術の導入						
(1)学び教えあえる場づくり						
◎学び教えあう場づくり	<p>○8月・9月 農業基礎講座 県農業振興センターを主体とし、農業研修生を対象に基礎講座(就農計画、制度資金、土づくり、農薬の適正使用経営管理等)を実施</p> <p>○JA選果場における目慣らし会の実施 出荷前、出荷途中目慣らし会 5月 オクラ、ラッキョウ、生姜</p> <p>○地域内農家訪問研修 四万十農園あぐりっこ研修生の農家訪問研修 7月 黒潮町農家視察 8月 安並地区農家訪問×2回</p>	<p>○10月・11月 農業基礎講座</p> <p>○JA選果場における目慣らし会の実施 出荷前、出荷途中目慣らし会 10月 ピーマン 11月 ブロッコリー、ナバナ 3月 ブロッコリー</p> <p>○地域内農家訪問研修 四万十農園あぐりっこ研修生の農家訪問研修 10月 トマト農家視察 11月 ピーマン農家視察</p>	<p>四万十市 (農林水産課・産業建設課) 高知県 JA高知はた 四万十農園あぐりっこ 西土佐農業公社 公益社団法人四万十市中村野菜価格安定基金協会 生産者</p>	<p>◆講座等を通じて、営農に不可欠な栽培技術や経営感覚が習得され、持続的な農業経営が実践されている</p> <p>◆新規就農者等と篤農家との交流が促進され、情報収集や就農後の相談体制等ネットワークが構築されている。</p>	<p>【課題】 ○新規就農者間及び棟農家の連携意識の醸成</p>	

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度】

分野	戦略の柱		上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
	施策						
	アクションプラン						
	主要内容						
農業分野							
(2)環境保全型農業の推進							
○環境保全型農業の普及・啓発	<p>○有機農業等総合支援事業</p> <p>化学肥料に頼らない土作りのため、市内の家畜ふん堆肥や有機物堆肥の施用にかかる経費やその散布を支援し、循環型農業を推進</p> <p>4～9月 ・中村地域 申請件数14件 123千円 ・西土佐地域 申請件数 4件 20千円</p> <p>○環境保全型農業直接支払交付金事業</p> <p>化学肥料、農薬を使用しない取組み又は5割以上低減し、環境保全に効果の高い営農活動を支援</p> <p>・取組面積:2,445a 3団体(11戸) ・有機農業:2,332a 2団体(9戸) 品目:水稲・果樹・野菜 ・カバークロープ113a 1団体(2戸) 品目:水稲</p> <p>○環境保全型農業推進事業補助金</p> <p>環境保全型農業を実践する農業者の育成、技術・機械導入経費への支援</p> <p>・園芸部(13戸)316a 品目:ミョウガ・大葉・キュウリ ・イチゴ部(13戸):168a</p>	<p>○有機農業等総合支援事業</p> <p>予算の範囲内で引き続き事業を実施</p> <p>○環境保全型農業直接支払交付金事業</p> <p>事業の実績等の確認</p> <p>○環境保全型農業推進事業補助金</p> <p>事業の実績等の確認</p>	<p>四万十市 (農林水産課・産業建設課) 生産者 JA高知はた</p>	<p>◆四万十川のブランドイメージにマッチした環境保全型農業が推進され、消費者からの支持が集まり、農産物の高付加価値が高まっている</p> <p>◆環境保全型農業直接支援隊対策事業参加経営面積 H26:21ha →H31:31ha H27:19.4ha</p> <p>◆環境保全型農業推進事業実施経営体数 H26:11戸 →H31:15戸 H27:26戸</p>	<p>【課題】</p> <p>○安定した生産量、品質の確保と販路の拡大</p>		
(3)次世代型こうち新施設園芸システムの普及推進							
★次世代型こうち新施設園芸システムの普及推進	<p>○環境制御技術導入加速化事業</p> <p>炭酸ガス施用装置等導入への支援</p> <p>7月 事業検討会 8月 事業実施に向けた要望調査 9月 事業補正対応 交付申請</p>	<p>○環境制御技術導入加速化事業</p> <p>11月 施工開始 対象農家7件 面積:153a 品目:ピーマン4件、きゅうり2件、大葉1件 12月 事業完了予定</p>	<p>四万十市 (農林水産課・産業建設課) 生産者</p>	<p>◆環境制御技術を導入する生産者が増加している</p> <p>◆環境制御装置導入農家数 H31:20戸 H27:8戸</p> <p>◆次世代施設園芸等への誘致企業数 H31:1社 H27:-</p>			
3. 集落営農の推進							
(1)集落営農の組織化、法人化の支援							
○組織化に向けた取組みの推進	<p>○組織化への誘導支援</p> <p>4月～ 蕨岡下分地区座談会(4回) 4月 集落座談会の実施(須崎、津野川) 7月 中村地域集落営農研究会の開催</p> <p>未組織地区を対象に組織設立に向けた情報提供や意見交換を実施</p>	<p>○組織化への誘導支援</p> <p>10月～ 蕨岡下分地区地区座談会を継続予定 11月 中村地域集落営農研究会の開催 西土佐地域集落営農研究会の開催</p> <p>○集落営農支援事業</p> <p>10月 先進地視察(黒潮町・須崎市) 1月 先進地視察(愛媛県宇和町2組織) 組織化検討地区代表や既存組織が参加予定</p>	<p>四万十市 (農林水産課・産業建設課) 集落営農組織</p>	<p>◆集落営農組織数 H26:20組織 →H31:25組織 H27:29組織</p> <p>◆農業経営を行う法人数 H26:2法人 →H31:9法人 H27:5法人</p>	<p>【課題】</p> <p>○地区のリーダー育成・確保 ○共同利用機械(無料)の取組にどまっている地区が数多く存在しているが、そうした地区に対する組織化への誘導(機械更新を見据えた料金徴収等の相互理解)</p>		

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
農業分野	○既存組織へのフォローアップ 4月～9月 組織別座談会(中村地域) 事業導入や法人化に向けた勉強会の開催 (4組織延べ8回) 6月 地元住民との交流の支援 小学校児童との田植え(若藤営農組合・利岡小学校) 7月 中村地域集落営農組織連絡協議会の開催 法人化、先進組織の取り組み事例紹介や意見交換 西土佐地域集落営農組織連絡協議会の開催 事業導入、協業経営や法人化へ向けた視察研修の実施 6組織11名が参加	○既存組織へのフォローアップ 10月～ 組織別座談会(中村地域) 次年度事業導入協議 10月 地元住民との交流の支援 小学校児童との稲刈り(若藤営農組合・利岡小学校) 11月 中村地域集落営農組織連絡協議会の開催 法人化、先進組織の取り組み事例紹介や意見交換			
(2)こうち型集落営農の実践	○集落営農支援事業(ハード事業) 組織に対する農業用機械、施設整備の助成 ・農事組合法人入田村 コンバイン、籾摺機 ・西土佐西部営農組合 畦塗機、田植機、コンバイン、乾燥機2台 ・農事組合法人四万十川営農組合 畦塗機、田植機	○集落営農支援事業(ハード事業) 事業の完了確認等 ○営農活動の持続・拡充に向けた取り組みの支援 西土佐中央組合機械部会津賀支部において、水稲後作としてナバナの 協業栽培への支援	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 集落営農組織 JA高知はた 生産者	◆収益性の高い品目を導入する組織が育成されている	【課題】 ○地域の特色に合った収益性の高い品目の選定における関係機関との連携
4. 生産・出荷支援システムの構築					
(1)農作業支援体制の充実	○農作業支援チーム・無料職業紹介所 9月 下半期からの事業拡大に向けて、市、JA、 関係機関との協議	○農作業支援チーム・無料職業紹介所 (事業主体:JA高知はた) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 10月～ 農作業支援隊による農業労働力確保事業 10月～3月までの事業計画 ・無料職業紹介 求職者数60 求人件数48 マッチング件数 40 ・農作業支援チーム 堆肥散布 100t 作業支援30人役 WCS収穫・梱包800a 育苗 ブロッコリー100枚 ニラ3,000枚	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知はた	◆無料職業紹介所 H26:1箇所 (北幡地域(西土佐)) →H31:2箇所 (幡東地域(中村)を増設)	
(2)集出荷支援体制の充実	○中山間地域生活支援総合事業(富山地域) 農産物の集出荷や生活支援にかかる人件費、燃料費等への支援 4月～7月 集出荷実績 利用者:26名 件数:441件(集出荷430、生活支援11) 【再掲】 ○ぶしゅかん産地化・普及推進事業(中村地域) 地方創生推進交付金を活用 8月～10月 集出荷支援(人件費等への補助)	○中山間地域生活支援総合事業(富山地域) 農産物の集出荷や生活支援にかかる人件費、燃料費等への支援	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知はた 大川筋振興組合 東富山を守る会	◆生産・出荷支援 システム取組件数 H26:5件 →H31:5件(維持) H27:5件	【課題】 ○県補助制度(H26～28年度までの3 年)が終了予定のため、終了後の集 出荷支援システムの維持 ○利用状況等による集荷ルートの見 直し、安定供給に向けた作付協議、事 業の周知と新たな利用者の募集

分野		上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
戦略の柱						
施策						
アクションプラン 主要内容						
農業分野		<p>【再掲】</p> <p>○中山間地域集出荷支援事業(西土佐地域) (事業主体:JA高知はた) 地方創生推進交付金を活用 6月～ 栗をはじめ園芸作物等の集出荷を円滑に推進</p> <p>【再掲】</p> <p>○四万十栗生産・加工・販売促進再生事業 (事業主体:株式会社と美野里) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 9月～ 集出荷支援</p> <p>【商工業分野と共通】</p> <p>○地域商社「株式会社西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よつて西土佐」関連) (実施主体:株式会社西土佐ふるさと市) 地方創生加速化交付金を活用 ・集出荷支援及び農産物の供給 週1回の農産物集荷 給食C、診療所、特養等への食材供給</p>	<p>【再掲】</p> <p>○中山間地域集出荷支援事業(西土佐地域) 事業を継続</p> <p>【再掲】</p> <p>○四万十栗生産・加工・販売促進再生事業 事業を継続</p> <p>【商工業分野と共通】</p> <p>○地域商社「株式会社西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よつて西土佐」関連) ・集出荷支援及び農産物の供給 週1回の農産物集荷 給食C、診療所、特養等への食材供給 ・道の駅地域産品開発等特別対策事業 ミニハウスレンタル事業(3棟予定)</p>			
2 地元農畜産物の利用・販売促進						
1. 地元農畜産物の利用促進						
(1)地元消費拡大に向けた取組みの強化						
◎公共施設での利用促進	○環境にやさしい農業のための研究会 学校給食への農産物供給 ※H28.4月～スクールミールぐどうへの農産物供給開始	○環境にやさしい農業のための研究会 11月 食育の推進(農業収穫体験・野菜勉強会) 東山小学校・東中筋小学校	四万十市 (農林水産課・産業建設課・観光商工課) 環境にやさしい農業のための研究会	◆学校給食への市内農産物(野菜類)の供給率 H26:64.8%→H31:-% H27:62.6% ※目標値は、中学校給食の開始、実施状況により後年度において設定	【課題】 ○実需者及び消費者等のニーズに対応した生産品目、生産量の確保(生産者、作付面積の増加)	
★連携ネットワーク形成	【再掲】 ○四万十農法米の推進 ※県農薬基準の5割以上低減及び化学肥料の低減による栽培米 5月 市内飲食店への営業(4店舗) 8月 市内飲食店へ試供品の配付 2店舗で取り扱い開始 精米施設導入検討会(1回目) 9月 精米施設導入検討会(2回目)	【再掲】 ○四万十農法米の推進 10月 精米施設導入検討会(3回目) 枚方市物産展出品	JA高知はた 株式会社西土佐ふるさと市 生産者	◆産業祭来場者数 H25:2,000人 → H31:20,000人 H27:12,500人		
◎市内量販店等を拠点とした販路拡大						
★地元消費拡大フェアの開催	【商工業分野と共通】 ○ナスフェス開催(道の駅よつて西土佐) 6月、8月 JA部会主体による米ナス、小ナス、いごっそうナスの試食PR販売 ○農産物フェアの開催(道の駅よつて西土佐) 道の駅で、毎月旬の農産物をクローズアップし、「旬の野菜のフェア」を開催している。 GWトマト、6月なす、7月ウリ、8月なす、9月栗					

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
農業分野	<p>【再掲】 ○ぶしゅかん産地化・普及推進事業 8月 四万十ぶしゅかんPR活動 普及活動に活用できる四万十ぶしゅかんPVが閲覧できる QRコード入のポスター及びリーフレットを作成しPR</p>				
(2)直販機能の強化					
○直販所機能の強化	○農林水産物直販所「安心係」養成講習会(7月) 情報発信、農産物管理、農薬適正使用、食品表示、衛生管理		四万十市 (農林水産課・産業建設課) 直販所	◆農林水産物等直販所 販売額 H25:11億5,600万円 → H31:13億円 H26:11億8900万円	【課題】 ○安定した生産量や品質の確保、品揃えの拡充
★道の駅「よって西土佐」の整備・機能強化	<p>【商工業分野と共通】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) (実施主体: (株)西土佐ふるさと市) 地方創生加速化交付金を活用 テストマーケティング、試食会、デザイナー招致等による商品の磨き上げ、新商品開発、ブランディング等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回「旬の野菜のフェア」実施(試食会等) ・地のモノを使ったスイーツ販売促進事業(ストローベイル) ・地産地消 <ul style="list-style-type: none"> ・農産物栽培計画指導(栽培講習会実施等) ・集出荷支援及び農産物の供給 週1回の農産物集荷 給食C、診療所、特養等への食材供給 ・道の駅地域産品開発等特別対策事業 食品加工開発等支援(事業採択申請4件) ・地域住民の居場所づくり(図書に親しむフェア開催ほか) 8月 道の駅よって西土佐で子ども教室を実施(3回) 高齢者の各種教室を実施 ・広域観光拠点機能 4月 デジタルサイネージ導入 ・道の駅連携による販売促進 6月 R381道の駅関係者との交流会実施(よって西土佐) 9月 ±41℃交流準備会(出店:よって西土佐) 旭川市の商品を道の駅で販売 9月 北の恵みうまいものマルシェ2016(旭川市)に出店 (よって西土佐・ぼっぼ栗・あゆ市場) ・外商活動 各スーパー等とのバイヤーと協議し、生鮮野菜を店頭陳列(実績22店舗) この22店舗のうち、3店舗(フジ北浜店・フジ大洲店・ダイキ野市店)に「道の駅よって西土佐の産直コーナー」設置。残りの県内マルナカ19店舗においては「いごっそうなす」のみ販売展開 ・サテライトショップ(松山市)開業に向けた協議等 ・地域おこし協力隊事業(道の駅2名配置) 	<p>【商工業分野と共通】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品開発、ブラッシュアップ、テストマーケティング 10月～ WSを3回実施し、1月以降に都市圏でのテストマーケティング等を実施予定(まるごと高知等) ・地産地消 <ul style="list-style-type: none"> ・農産物栽培計画指導(栽培講習会実施等) ・集出荷支援及び農産物の供給の継続 ・道の駅地域産品開発等特別対策事業 食品加工開発等支援(事業採択申請1件予定) ミニハウスレンタル事業(3棟予定) ・地域住民の居場所づくり(図書に親しむフェア開催ほか) 図書館と連携した教室、各種高齢者教室等を実施予定 ・広域観光拠点機能 デジタルサイネージ情報の更新等 おもてなし意識の醸成とインバウンド対応のスキルアップ研修を実施予定(10月～) ・クラウドファンディングを活用したファンづくり(10月～) ・外商活動 県内マルナカ19店舗及びサンシャインの各店舗において「道の駅よって西土佐の産直コーナー」設置へ向けて協議調整を継続。 ・百貨店バイヤー等招致研修会(1月～) ・サテライトショップ松山 10月 サテライトショップ松山オープン R381上の道の駅商品をサテライトショップ松山で販売。幡多地域の道の駅の商品をサテライトショップ松山で販売できるよう取り組む 		◆道の駅「よって西土佐」 入込客数 →H31:13万人	

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 <数量的に見える形で具体的に記載>	下半期の取り組み予定 <内容を具体的に記載>	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
農業分野					
2. ブランド化の確立と販売促進					
(1)ブランド化の推進					
◎戦略品目のブランド化	【再掲】 ○ぶしゆかん産地化・普及推進事業 地方創生推進交付金を活用 9月 ぶしゆかん青玉キャンペーン 首都圏の高級スーパー、百貨店(延べ6箇所)で配布、加工品の試食等を実施 【再掲】 ○ぶしゆかんPRの取組み 6月～7月 ぶしゆかんTV-CM展開 (実施主体:四万十ぶしゆかん(株)) 【再掲】 ○「四万十ゆず」の地域団体商標登録に向けた取組みの推進 (事業主体:JA高知はた ※H29年度出願予定) 認知度向上に向けた取組実施(「四万十ゆず」と段ボールに記載する等)	【再掲】 ○ぶしゆかんPRの取組み (事業主体:四万十ぶしゆかん(株)) 地方創生推進交付金を活用 11月～ TVCM制作費、WEBプロモーション 【再掲】 ○「四万十ゆず」の地域団体商標登録に向けた取組みの推進 (事業主体:JA高知はた ※H29年度出願予定) 認知度向上に向けた取組実施(「四万十ゆず」と段ボールに記載する等)	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知はた 生産者 事業者	◆四万十農法米栽培面積 →H31:20ha H27:4戸 120a ◆四万十農法米生産量 →H31:88.4t H27:4,920kg	【課題】 ○安定した生産量、品質の確保と販路の拡大
★40010日プロジェクト	○農産物のブランド化事業 地方創生推進交付金を活用 「四万十農法米」の推進 ※県農薬基準の5割以上低減及び化学肥料の低減による栽培米 ・40010日プロジェクト 4月 プロジェクト関連業務打合せ(1回目) 5月 プロジェクト関連業務打合せ(2回目) 平成27年産四万十農法米売上の一部を寄付 市内飲食店への営業(4店舗) 新生児への農法米プレゼント開始(新聞2社掲載) 精米施設整備に向けた協議(第1回) 8月 市内飲食店へ試供品の配付 2店舗で取り扱い開始 9月 プロジェクト関連業務委託契約 精米施設整備に向けた協議(第2回) ・四万十農法米 4月 平成28年産コシヒカリ栽培開始(7名 190a) 浅水代掻き講習会(早生) 5月 浅水代掻き講習会(中生) 6月 平成28年産ヒノヒカリ栽培開始(3名 87a) 8月 コシヒカリ収穫(早生) 早生販売開始	○農産物のブランド化事業 ・40010日プロジェクト 10月 プロジェクトデザイン完成 精米施設導入検討会(3回目) 枚方市物産展出品 11月 商標登録事務 3月 商標登録完了 ・四万十農法米 10月 ヒノヒカリ収穫(中生) 11月以降 販売開始			
(2)地元農畜産物を使った商品の開発・販売					
○地元農畜産物を使った商品の開発 ◎意欲的な生産者への支援 ★産業間連携や広域連携による外商活動	【商工業分野と共通】 ○地域の頑張る人づくり事業補助金 (事業主体:四万十市地域商品研究会) マーケティングや販路開拓等に関する研修を行い効果的な外商活動を企画・展開できる人材育成を図る 研修実施及び研修テーマ(実績:3回)	【商工業分野と共通】 ○地域の頑張る人づくり事業補助金 ○地域の頑張る人づくり事業補助金 10月～2月 4回の研修 研修テーマ(予定) ・SNSを活用したマーケティング戦略 ・クレーム対応	四万十市 (農林水産課・産業建設課・観光商工課) 生産者 事業者	◆一次産品等を活かした新商品の開発 →H31:15アイテム H27:25アイテム ※農畜産物加工品以外を含む	

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 <数量的に見える形で具体的に記載>	下半期の取り組み予定 <内容を具体的に記載>	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
農業分野 ○商談会等販路開拓・拡大の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・5月 これからの売上げの考え方 ・7月 マーケティング戦略の考え方 ・9月 四万十ブランドを利用した販売戦略 <p>【再掲:商工業分野と共通】</p> <p>○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よつて西土佐」関連)</p> <p>(実施主体:(株)西土佐ふるさと市)</p> <p>四万十市産振総合補助金を活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地のモノを使ったスイーツ販売促進事業(ストローベイル) ・道の駅地域産品開発等特別対策事業 食品加工開発等支援(事業採択申請4件) ・広域観光拠点機能 4月 デジタルサイネージ導入 ・道の駅連携による販売促進 6月 R381道の駅関係者との交流会実施(よつて西土佐) 9月 ±41℃交流準備会(出店:よつて西土佐) 旭川市の商品を道の駅で販売 9月 北の恵みうまいものマルシェ2016(旭川市)に出店 (よつて西土佐・ぼっぼ栗・あゆ市場) ・外商活動 各スーパー等とのバイヤーと協議し、生鮮野菜を店頭で陳列(実績22店舗)この22店舗のうち、3店舗(フジ北浜店・フジ大洲店・ダイキ野市店)に「道の駅よつて西土佐の産直コーナー」設置。残りの県内マルナカ19店舗においては「いごっそうなす」のみ販売展開 ・サテライトショップ(松山市)開業に向けた協議等 <p>【商工業分野と共通】</p> <p>○地産外商促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月 観光・物産展in大阪海遊館 9月 ぶしゅかん青玉キャンペーン (渋谷東急・福島屋六本木店) <p>○四万十市ふるさと応援団事業 地元産品及び観光のPR、販売促進</p> <p>5月 関東幡多四万十会(東京)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・成長分野とのビジネスマッチング ・自社商品のプレゼンテーション <p>【再掲:商工業分野と共通】</p> <p>○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よつて西土佐」関連)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品開発、ブラッシュアップ、テストマーケティング 10月～ WSを3回実施し、1月以降に都市圏でのテストマーケティング等を実施予定(まるごと高知等) ・道の駅地域産品開発等特別対策事業 食品加工開発等支援(事業採択申請1件予定) ミニハウスレンタル事業(3棟予定) ・広域観光拠点機能 デジタルサイネージ情報の更新等 ・外商活動 県内マルナカ19店舗及びサンシャインの各店舗において「道の駅よつて西土佐の産直コーナー」設置へ向けて協議調整を継続。 ・百貨店バイヤー等招致研修会(1月～) ・サテライトショップ松山 10月 サテライトショップ松山オープン R381上の道の駅商品をサテライトショップ松山で販売。幡多地域の道の駅の商品をサテライトショップ松山で販売できるよう取り組む <p>【水産業、商工業分野と共通】</p> <p>○地産外商促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 10月 フェスティバル土佐ふるさとまつり 12月 高知大丸「冬の味覚祭」出店(株)西土佐ふるさと市 <p>【商工業分野と共通】</p> <p>○四万十フェア開催(幡多広域地産外商推進協議会)</p> <ul style="list-style-type: none"> 10月 岡山マルイ(津山市)にて幡多フェア開催 12月 土佐清水ワールド(神戸)に出展 <p>【水産業、商工業分野と共通】</p> <p>○枚方市・四万十市友好都市交流物産展</p> <ul style="list-style-type: none"> 11月 枚方市交流物産展開催 <p>【商工業分野と共通】</p> <p>○特産品等販売促進事業 (実施主体:四万十市地域商品研究会)</p> <p>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 11月 海外でのフェア出展(高知県物産展in台湾) 2月 グルメ&ダイニングスタイルショー(東京ビックサイト) 4業者出展 スーパーマーケットトレードショー(幕張メッセ) 4業者出展 <p>【商工業分野と共通】</p> <p>○産地視察型商談会の開催 1～3月 実施に向け県と協議</p> <p>【商工業・観光分野と共通】</p> <p>○食の魅力を活かした地域振興事業 地方創生加速化交付金を活用</p> <p>「(仮称)四万十の食研究会」を設立し、地域の食材、食文化の掘起しと磨き上げ、「四万十の食」の開発(アドバイザー招致等)</p>		<p>◆商談会等での商談件数 H26:108件/年 → H31:150件/年 H27:134件/年</p> <p>※農畜産物加工品以外を含む</p>	

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度】

分野		上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
戦略の柱						
施策						
アクションプラン 主要内容						
農業分野						
3. 有機農業の推進						
(1)有機農産物の販路開拓・拡大						
◎有機農産物の流通促進	○環境にやさしい農業のための研究会の支援 5月 四万十こだわり物産市(藤祭り)への参加PR	○環境にやさしい農業のための研究会の支援 11月 枚方市・四万十市都市交流物産展等へ出展PR	四万十市 (農林水産課・産業建設課)	◆四万十川のブランドイメージにマッチした有機農業が推進され、消費者からの支持が集まり、農産物の高付加価値が高まっている	【課題】 ○安定した生産量、品質の確保と販路の拡大 ○実需者及び消費者等のニーズに対応した生産品目、生産量の確保(生産者、作付面積の増加)	
【再掲】 ◎公共施設での利用促進	○西土佐地域地産地消推進協議会 5月 第1回協議会 学校、宿泊施設、医療福祉施設等の給食材料として提供できる栽培体制の構築について協議 7月 協議会メンバーで現地視察と作付指導を実施 8月 生産者を対象とした栽培講習会を開催 【再掲】 ○環境にやさしい農業のための研究会 学校給食への農産物供給 ※H28.4月～スクールミールぐどうへの農産物供給開始	○西土佐地域地産地消推進協議会(2・3回目) 11月 第2回協議会(学校給食等への食材供給検討等) 2月 第3回協議会(学校給食等への食材供給検討等) 【再掲】 ○環境にやさしい農業のための研究会 11月 食育の推進(農業収穫体験・野菜勉強会) 東山小学校・東中筋小学校	環境にやさしい農業のための研究会 高知県(農業振興センター) 西土佐地域地産地消推進協議会	◆学校給食への市内農産物(野菜類)の供給率 H26:64.8%→H31:-% H27:62.6% ※目標値は、中学校給食の開始、実施状況により後年度において設定		
(2)有機農業の普及・啓発活動の推進						
○有機農業の普及・啓発	【再掲】 ○有機農業等総合支援事業 (中村地域)H28.4～9月 申請件数14件 123千円 (西土佐地域) 申請件数4件 20千円 ○環境にやさしい農業のための研究会との連携協議 5月 事業推進等における関係機関との検討、協議(理事会・総会等) 構成:生産者等、市、JA高知はた、県農業振興センター、県西部家畜保健衛生所	【再掲】 ○有機農業等総合支援事業 予算の範囲内で引き続き補助を実施 ○環境にやさしい農業のための研究会との連携協議 11月～ 事業推進等における関係機関との検討、協議(理事会等)	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 環境にやさしい農業のための研究会 生産者	◆四万十川のブランドイメージにマッチした有機農業が推進され、消費者からの支持が集まり、農産物の高付加価値が高まっている ◆有機農業等総合支援事業実施面積 H26:11.5ha →H31:12ha H27:18.8ha	【課題】 ○安定した生産量、品質の確保と販路の拡大	
3 担い手の確保・育成						
1. 新規就農者の確保・育成						
(1)新規就農者の研修支援						
○新規就農者の確保・育成	○新規就農研修支援事業 ・受入農家 4月～ 研修生3名受入 (うち1名が8月から施設園芸で就農開始) 5月～ 研修生 1名 ・四万十農園あぐりっこ 4月～ 研修生 1名 ・西土佐農業公社 4月～ 研修生2名	○新規就農研修支援事業 引き続き研修事業を実施	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 四万十農園あぐりっこ 西土佐農業公社 JA高知はた	◆新規就農者数 H31:3人/年 H27:3人/年	【課題】 ○農地の確保 ○就農相談は多いものの、就農要件(自己資金、労働力等)を満たす希望者は少ない	
◎新規就農者に対する農地提供促進	○農地の斡旋 ・空きハウス情報提供(中村地域) ・空きハウスと農業者のマッチング方法の協議(西土佐地域)	○農地の斡旋 ・空きハウス情報提供(中村地域) ・空きハウスのマッチングシステム構築及びマッチング(西土佐地域)				

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度】

分野		上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
戦略の柱						
施策						
アクションプラン 主要内容						
農業分野						
(2)新規就農支援体制の拡充						
○相談支援体制の充実 ○経営安定への支援	○就農相談・経営安定化支援 ・新農業人フェア出展 6月 大阪 面談6件 7月 東京 面談8件 9月 東京 面談8件 ・就農支援チームによるトータルサポート 経営計画作成支援、就農相談(4件)、就農支援	○就農相談・経営安定化支援 ・新農業人フェア出展 1月 大阪 ・就農支援チームによるトータルサポート 経営計画作成支援、就農相談、就農支援継続	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 四万十農園あぐりっこ 西土佐農業公社 JA高知はた	◆新規就農者数 H31:3人/年 H27:3人/年		
◎就農開始時の支援	○レンタルハウス整備事業(新規就農者) 4月 資金計画支援協議 5月 レンタルハウス整備事業地域協議会 9月 新規就農者用ハウス完成予定(2,820㎡、鍋島) ○認定新規就農者支援 6月 青年等就農計画審査会 ○青年就農給付金事業 経営が不安定な就農初期段階の青年就農者への経営支援 8月 青年就農給付金開始型受給者サポート 受給者15名の現地確認	○レンタルハウス整備事業(新規就農者) 1月 次年度事業予定者支援 ○認定新規就農者支援 1月 次年度事業予定者支援 2月 人・農地プランへの登録協議 ○青年就農給付金事業 1月 次年度事業予定者支援 3月 青年就農給付金開始型受給者サポート 受給者14名の現地確認				
(3)移住促進による新規就農支援						
◎移住就農者の誘致活動の強化 ◎Iターン(夫婦就農)者に対する支援拡充	【再掲】 ○新・農業人フェア出展 6月 大阪 面談6件 7月 東京 面談8件 9月 東京 面談8件	【再掲】 ○新・農業人フェア出展 1月 大阪	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 四万十農園あぐりっこ 西土佐農業公社 JA高知はた	◆新規就農者数 H31:3人/年 H27:3人/年 ※移住夫婦研修者含む	【課題】 ○農地の確保 ○就農相談は多いものの、就農要件を満たす希望者が少ない(自己資金、労働力等)	
2. 認定農業者等の育成						
(1)認定農業者制度の周知強化						
○今後育成すべき農業者の把握、誘導		○人農地問題加速化支援事業 2月 人・農地プラン地区座談会等で中心経営体の経営状況を把握し誘導 ○認定農業者への誘導 10月、2月 再認定者の農業経営改善計画作成支援にあわせて可能性のある農家を個別に誘導	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知はた	◆認定農業者数 H25:127人 →H31:150人 H27:135人		
○認定農業者制度の周知徹底	○新規就農者への制度説明(随時) 4月～9月 就農相談時(4件)	○新規就農者への制度説明(随時) 認定新規就農者等へ制度説明				
(2)認定農業者等のフォローアップの強化						
◎認定農業者等のフォローアップの強化	○認定農業者のフォローアップ 5月 再認定者の農業経営改善計画作成支援(西土佐9件) 5～6月 H26新規認定者と個別に面談(中村25件)	○認定農業者のフォローアップ 10月 H26新規認定者と個別に面談(中村15件、西土佐1件) 再認定者の農業経営改善計画作成支援(中村5件) 11月 全国担い手サミット(岐阜)へ参加(9名)	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知はた	◆認定農業者数 H25:127人 →H31:150人 H27:135人		

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度】

分野		上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
戦略の柱						
施策						
アクションプラン 主要内容						
農業分野						
【再掲】 3. 集落営農の推進						
(1)集落営農の組織化、法人化の支援						
○組織化に向けた取組みの推進	○組織化への誘導支援 4月～ 蕨岡下分地区座談会(4回) 4月 集落座談会の実施(須崎、津野川) 7月 中村地域集落営農研究会の開催 未組織地区を対象に組織設立に向けた情報提供や意見交換を実施	○組織化への誘導支援 10月～ 蕨岡下分地区地区座談会を継続予定 11月 中村地域集落営農研究会の開催 西土佐地域集落営農研究会の開催 ○集落営農支援事業 10月 先進地視察(黒潮町・須崎市) 1月 先進地視察(愛媛県宇和町2組織) 組織化検討地区代表や既存組織が参加予定	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 高知県(農業振興センター) JA高知はた 集落営農組織	◆集落営農組織数 H26:20組織 →H31:25組織 H27:29組織 ◆農業経営を行う法人数 H26:2法人 →H31:9法人 H27:5法人	【課題】 ○地区のリーダー育成・確保 ○共同利用機械(無料)の取組にどまっている地区が数多く存在しているが、そうした地区に対する組織化への誘導(機械更新を見据えた料金徴収等の相互理解)	
◎フォローアップ体制の充実・強化	○既存組織へのフォローアップ 4月～9月 組織別座談会(中村地域) 事業導入や法人化に向けた勉強会の開催(4組織延べ8回) 6月 地元住民との交流の支援 小学校児童との田植え(若藤営農組合・利岡小学校) 7月 中村地域集落営農組織連絡協議会の開催 法人化、先進組織の取組み事例紹介や意見交換 西土佐地域集落営農組織連絡協議会の開催 事業導入、協業経営や法人化へに向けた視察研修の実施 6組織11名が参加	○既存組織へのフォローアップ 10月～ 組織別座談会(中村地域) 次年度事業導入協議 10月 地元住民との交流の支援 小学校児童との稲刈り(若藤営農組合・利岡小学校) 11月 中村地域集落営農組織連絡協議会の開催 法人化、先進組織の取組み事例紹介や意見交換				
(2)こうち型集落営農の実践						
○収益性の高い品目を導入した組織の育成・支援	○集落営農支援事業(ハード事業) 組織に対する農業用機械、施設整備の助成 ・農事組合法人入田村 コンバイン、粃摺機 ・西土佐西部営農組合 畦塗機、田植機、コンバイン、乾燥機2台 ・農事組合法人四万十川営農組合 畦塗機、田植機	○集落営農支援事業(ハード事業) 事業の完了確認等 ○営農活動の持続・拡充に向けた取組みの支援 西土佐中央組合機械部会津賀支部において、水稻後作としてナバナの協業栽培への支援	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 集落営農組織 JA高知はた 生産者	◆収益性の高い品目を導入する組織が育成させられている	【課題】 ○地域の特色に合った収益性の高い品目の選定における関係機関との連携	

分野		上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
戦略の柱						
施策						
アクションプラン 主要内容						
農業分野						
4 農地の利用促進						
1. 農地の利用調整						
(1)農地利用の円滑化						
○農地中間管理機構の活用	○農地中間管理事業 8～9月 田野川甲地区、西土佐藤ノ川地区で中間管理事業実施に向けた農地の掘り起こし	○農地中間管理事業 10月 上半期で掘り起こした農地の中間管理権設定 11月 中間管理権設定農地の受け手への配分(13.9ha) 3月 上記農地に対する機構集積協力金交付(1,390千円)	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 農業委員会 農地中間管理機構	◆営農類型に応じた農地集積、農地利用の円滑化(流動化)が促進されている		
◎地域の農業委員による農地の利用調整	○農業委員による農地の利用調整 4～5月 利用意向調査実施 8～9月 利用意向調査結果に基づく農地パトロールの実施	○農業委員による農地の利用調整 10月 利用意向調査結果の取りまとめ結果(機構利用希望データ)の機構への引き渡し				
(2)営農類型等に応じた農地の集積						
○農業振興地域整備計画の全体見直し		○農業振興地域整備計画の見直し 高知県農業振興地域整備基本方針の見直し及び整備計画の定期見直し(5年毎)により、計画の見直しを実施	四万十市 (農林水産課・産業建設課)	◆営農類型に応じた農地集積、農地利用の円滑化(流動化)が促進されている		
○人・農地プラン作成、更新の支援		○人・農地問題解決加速化支援事業 11月 プラン見直しに係る座談会の実施(西土佐2地区) 中村地域の各地区プラン見直し案作成 12月 プラン見直しに係る座談会の実施(中村11地区) 3月 人・農地プラン検討会の開催(中村・西土佐)	JA高知はた			
○新規参入、品目転換における適地誘導						
(3)基盤整備の推進						
○入田地区整備	○入田地区整備 ほ場整備工事 A=10.4ha 揚水ポンプ施設 4箇所 上記県営事業に伴う、地元との調整及び協議	○入田地区整備 上半期発注工事に伴う、地元との調整	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 地区組織	◆ほ場整備実施面積 H26:973ha →H31:1,014ha H27: 5.5 ha(入田) 978.5ha(全体)		
○利岡、三里地区整備	○利岡地区整備 地形図作成業務 1式 上記県営事業に伴う、地元との調整及び協議 利岡土地改良区設立に伴う協議及び調整 ○三里地区整備 実施設計委託業務 1式 上記県営事業に伴う、地元との調整及び協議 三里土地改良区設立に伴う協議及び調整	○利岡地区整備 上半期発注業務に伴う、地元との調整 利岡土地改良区設立に伴う協議及び調整 ○三里地区整備 上半期発注業務に伴う、地元との調整 三里土地改良区設立に伴う協議及び調整				
○その他の地区整備	○整備検討地区との協議を随時実施 既存整備地区終了後の基盤整備について随時検討協議 (既存整備地区はH32頃整備完了予定)	○整備検討地区との協議を随時実施 既存整備地区終了後の基盤整備について随時検討協議 (既存整備地区はH32頃整備完了予定)				
2. 耕作放棄地対策						
(1)耕作放棄地の再生及び発生防止対策						
○耕作放棄地の再生	○耕作放棄地の再生 4～5月 農地利用意向調査による再生地情報の取得 8～9月 農地パトロールによる再生地確認	○耕作放棄地の再生 12月 耕作放棄地再生結果取りまとめ	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 農業委員会	◆中山間地域等直接支払制度の実施農地面積 H31: 461.6haを維持 H27: 458.3ha	【課題】 ○活動組織構成員の高齢化、担い手不足による活動組織の維持	

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度】

分野		上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
戦略の柱	アクションプラン 主要内容					
施策						
農業分野						
	○耕作放棄地の発生防止対策	○耕作放棄地の発生防止対策 ・多面的機能支払推進交付金(四万十市計) 交付予定額 104,626千円 交付組織数 61組織 ・中山間地域等直接支払交付金(四万十市計) 交付予定額 81,699千円 交付組織数 44組織 4月～各組織による共同活動実施 6月 多面的機能支払交付金活動組織・中山間直接支払 交付金制度活動組織合同研修会(西土佐地域) 参加組織:31組織(37名) 7月 中山間直接支払交付金制度各組織ヒアリング (西土佐地域) 参加組織:23組織(26名)	○耕作放棄地の発生防止対策 事業の進捗管理、変更手続き、事業費確定	集落協定組織 農地・水保全組織	◆多面的機能支払制度 の実施農地面積 H31:1,513haを維持 H27:1,653ha	
	(2)適合品目の栽培促進					
	○適合品目の栽培促進	【再掲】 ○ぶしゆかん産地化・普及推進事業 8月～ 新規定植予定のほ場について適地現地確認 【再掲】 ○水田転換ゆず定例会の実施(4月・6月・7月) 栽培管理指導、出荷検討(対象農家:10戸)	【再掲】 ○ぶしゆかん産地化・普及推進事業 9月～ 新規定植(苗代の補助)2,250本 450a(ほ場29カ所) H28年度末 4,759本 【再掲】 水田転換ゆず定例会の実施	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 生産者	◆ぶしゆかん新植面積 H26:0.9ha →H31:12ha H27:4.9ha ◆ゆず栽培面積 H26:42.5ha →H31:42.5haを維持 H27:42.5ha	

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度】

分野		上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
戦略の柱						
施策						
アクションプラン 主要内容						
林業分野						
1 四万十の山づくり						
1. 長期的視点に立った産地づくり						
(1)ヒノキ産地としての意識の醸成						
★ヒノキ産地としての市民意識の醸成	○「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施 8月末現在:見学者 69名、宿泊者44組(209名)	○「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施 随時実施 ○フェア等への参加 10月 ・「高知もくもくランド2016秋まつり」へ出店PR (主催:高知県木材普及推進協会、高知県) (出店:四万十ヒノキブランド化推進協議会) ・かわらっこ村祭りで「四万十ヒノキの家」PR 11月 「幡多山もりフェス2016」出展 (主催:幡多山もりフェス実行委員会) (出店:榊かわらっこ) 「四万十ヒノキの家」をPR予定	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業体 四万十ヒノキブランド化 推進協議会 (株)かわらっこ	◆市民、森林所有者へ品質に優れたヒノキ資源が全国有数であり、ヒノキ産地として森林整備の必要性が周知されるとともに、山(林業)や木材への関心が高まっている	【課題】 ○不在村地主へのアプローチ・啓発	
◎森林所有者の意識の醸成	○提案型集約化施策の推進 森林組合、林業事業体で森林所有者へのアプローチ・啓発、提案型集約化施策への地権者合意形成を推進	○提案型集約化施策の推進 事業を継続				
(2)計画的な森林管理・経営の促進						
○森林資源の現状把握とデータ管理の徹底	○施策をした森林の森林簿のデータ修正・管理 造林補助事業等により森林簿を随時更新 ○森林整備地域活動支援交付金事業(H28年間計画) ・森林経営計画作成促進(経営委託型) 面積120ha ・森林経営計画作成促進(共同施業型) 面積180ha ・森林経営計画・施業集約化に向けた条件整備(路網整備):200ha	○施策をした森林の森林簿のデータ修正・管理 造林補助事業等により森林簿を随時更新 ○森林整備地域活動支援交付金事業(H28年間計画) 事業を継続	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業体	◆計画的な森林管理・経営に向け「森の工場」や森林経営計画が整備促進されている ◆「森の工場」の認定面積 H26:3,586ha → H31:4,000ha H27:3,834ha	【課題】 ○施業未実施の山林については、データ管理が不十分で手が回っていない	
○経営類型の明確化	○森林経営計画の作成 林業事業体等が森林経営計画を作成し経営類型を明確化					
(3)提案型集約化施策の推進						
○森林所有者へのアプローチの強化	【再掲】 ○提案型集約化施策の推進 森林組合、林業事業体で森林所有者へのアプローチ・啓発、提案型集約化施策への地権者合意形成を推進	【再掲】 ○提案型集約化施策の推進 事業を継続	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業体	◆「森の工場」や森林経営計画が整備促進されている ◆「森の工場」の認定面積 H26:3,586ha → H31:4,000ha H27:3,834ha	【課題】 ○森林組合、林業事業体の経営基盤が弱く、大幅な事業拡大は難しい	
○森林経営計画策定の促進	【再掲】 ○森林整備地域活動支援交付金事業(H28年間計画) ・森林経営計画作成促進(経営委託型) 面積120ha ・森林経営計画作成促進(共同施業型) 面積180ha ・森林経営計画・施業集約化に向けた条件整備(路網整備):200ha	【再掲】 ○森林整備地域活動支援交付金事業(H28年間計画) 事業を継続				
○森の工場の推進	○森の工場(協働のもりづくり事業含む) 新規着手 ・津野川地区:搬出間伐(県へ森の工場認可申請中)	○森の工場(協働のもりづくり事業含む) 新規着手 ・板ノ川地区:県申請へ向け準備中				

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更						
						分野					
						林業分野					
						2. 長伐期施業の推進					
	継続実施分 ・伊才原地区(蕨岡工区): 搬出間伐5.0ha、作業道800m ・西ヶ方地区(アヤマ): 搬出間伐5.28ha、作業道1600m 協働の森協定締結分 ・藤ノ川地区(岩間下甫喜): 搬出間伐7.25ha、作業道500m ・半家地区(半家宮の川): 搬出間伐10.9ha、作業道1930m	継続実施分 ・伊才原地区(蕨岡工区)の事業継続 ・西ヶ方地区(アヤマ)の事業継続 ・常六地区(センチオロシ): 搬出間伐5.5ha、作業道600m 協働の森協定締結分 ・藤ノ川地区(岩間下甫喜)の事業継続 ・半家地区(半家宮の川)の事業継続 ・富山西地区(西平山): 搬出間伐19.0ha ・九樹地区協働の森: 搬出間伐6.0ha									
(1)長伐期施業方針の策定と普及啓発											
★長伐期施業方針の策定と普及啓発	○長伐期施業方針の策定(継続)		四万十市(農林水産課)	◆長伐期施業方針が広く認知されている							
(2)長伐期施業技術(ノウハウ)の蓄積											
★市有林におけるモデル林の整備 ★長伐期施業の経営シュミレーションの検証	○市有林整備事業 ・搬出間伐: 11.8ha ・保育間伐: 6.6ha ・作業道整備: L=1,610m	○市有林整備事業 ・搬出間伐: 12.2ha ・保育間伐: 32.0ha ・作業道整備: L=3,450m ・シカ食害防止ネット設置: 10ha	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業体 四万十ヒノキブランド化推進協議会	◆長伐期施業に関するノウハウ、技術体系が確立されている	【課題】 ○経営シュミレーションにあたっては、材価、施業経費、搬出経費、補助制度など、様々な条件設定が必要						
(3)長伐期施業技術(ノウハウ)の普及											
★長伐期施業の講習会等の開催		○長伐期の講習会を実施 (実施主体: 四万十ヒノキブランド化推進協議会)	四万十市(農林水産課) 四万十ヒノキブランド化推進協議会	◆長伐期施業に関するノウハウ、技術体系が確立され、普及している							
3. 適切な皆伐、間伐による原木生産の拡大											
(1)森林の特性に応じた皆伐、間伐の実践											
◎森林の特性に応じた皆伐、間伐の実践	【再掲】 ○市有林整備事業 ・搬出間伐: 11.8ha ・保育間伐: 6.6ha ・作業道整備: L=1,610m 【再掲】 ○森の工場(協働のもりづくり事業含む) 新規着手 ・津野川地区: 搬出間伐 (県へ森の工場認可申請中) 継続実施分 ・伊才原地区(蕨岡工区): 搬出間伐5.0ha、作業道800m ・西ヶ方地区(アヤマ): 搬出間伐5.28ha、作業道1600m 協働の森協定締結分 ・藤ノ川地区(岩間下甫喜): 搬出間伐7.25ha、作業道500m ・半家地区(半家宮の川): 搬出間伐10.9ha、作業道1930m ○緊急間伐総合支援事業 ・公益林保全整備(搬出間伐): 1.55ha ・森林整備支援(搬出間伐): 3.8ha	【再掲】 ○市有林整備事業 ・搬出間伐: 12.2ha ・保育間伐: 32.0ha ・作業道整備: L=3,450m 【再掲】 ○森の工場(協働のもりづくり事業含む) 継続実施分 ・伊才原地区(蕨岡工区)の事業継続 ・西ヶ方地区(アヤマ)の事業継続 ・常六地区(センチオロシ): 搬出間伐5.5ha、作業道600m 協働の森協定締結分 ・藤ノ川地区(岩間下甫喜)の事業継続 ・半家地区(半家宮の川)の事業継続 ・富山西地区(西平山): 搬出間伐19.0ha ・九樹地区協働の森: 搬出間伐6.0ha ○緊急間伐総合支援事業 事業を継続	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業体	◆原木生産量 H24: 47,000m ³ → H31: 60,000m ³ H25: 75,573m ³ H26: 93,790m ³	【課題】 ○森林組合、林業事業体の経営基盤が弱く、大幅な事業拡大は難しい						

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更						
						分野					
						林業分野					
						(2) 施業の効率化と低コスト化					
	○環境林整備事業(組合等が県へ直接申請) ・木材生産を目的とせず、森林の環境公益の発揮を目指す森林を「環境林」と定め、切捨て間伐を実施 18.7ha、3,476千円	○環境林整備事業 事業を継続									
○作業道や林業機械導入への支援 ○林内路網の維持管理	【再掲】 ○市有林整備事業 ・作業道整備:L=1,610m 【再掲】 ○森の工場(協働のもりづくり事業含む) 継続実施分 ・伊才原地区(蕨岡工区)作業道800m ・西ヶ方地区(アヤマ):作業道1,600m 協働の森協定締結分 ・藤ノ川地区(岩間下甫喜):作業道500m ・半家地区(半家宮の川):作業道1,930m ○緊急間伐総合支援事業 ・作業道整備:L=300m ○ふるさと暮らし支援事業(作業道の改良・舗装) ・林道舗装資材:3路線(総延長=211m) ・作業道整備:1路線(総延長=59m) ○林道・作業道維持補修 2,918千円	【再掲】 ○市有林整備事業 ・作業道整備:L=3,450m 【再掲】 ○森の工場(協働のもりづくり事業含む) 新規着手 ・板ノ川地区:作業道1,200m 継続実施分 ・常六地区(センチオン):作業道600m 協働の森協定締結分 ・富山西地区(西平山):作業道2,400m ・九樹地区協働の森:作業道600m ○高性能林業機械導入・地域林業総合支援事業 林業事業体の高性能機械導入を支援(グラップル) ○緊急間伐総合支援事業 ・作業道整備:L=2,700m ○ふるさと暮らし支援事業(作業道の改良・舗装) ・林道舗装資材:1路線(総延長=40m) ・作業道整備:3路線(総延長=1,500m) ○林道・作業道維持補修 随時補修、中村大正線舗装補修発注	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業体	◆効率的な作業システムによる施業の低コスト化が進んでいる ◆作業道開設実績 延長累計 H25:709,795m → H31:790,000m H26:739,719 m							
(3) 低コスト再造林、育林の実践											
◎低コスト再造林、育林の実践 ◎防護柵の設置と捕獲の促進	○防護柵設置(県補助) 交付決定額1,887千円 30件、L=7,240m予定 ○国防護柵設置 (事業主体:四万十市有害鳥獣被害対策協議会) 交付決定額 37,215千円 延長102,100m予定 ○有害鳥獣捕獲報奨金による捕獲 9月現在:西土佐分+中村分 シカ 284+894=1,178頭 イノシシ 146+580=726頭 サル 7+9=16頭 ハクビシン 35+201=263頭	○防護柵設置(県補助) 事業を継続 ○国防護柵設置 事業を継続 ○有害鳥獣捕獲報奨金による捕獲 随時実施	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業体 四万十市有害鳥獣被害 対策協議会	◆低コスト再造林、育林のノウハウ、技術体系の確立が進んでいる ◆シカの捕獲頭数 H26:4,446頭 → H31:6,000頭 H27:4,055頭							

分野	戦略の柱	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
	施策					
	アクションプラン					
	主要内容					
林業分野						
4. 林業事業体や担い手の確保、育成						
(1)林業事業体及び林業技術者の育成支援						
○林業事業体、林業技術者の育成	<p>○「緑の雇用」事業 新規雇用5人(内、みどりの雇用2名) ・新規雇用者5人(森林組合4人、林業事業体1人) ・2年目雇用者7人(森林組合5人、林業事業体2人) ・3年目雇用者3人(森林組合1人、林業事業体2人) 【参考】卒業生雇用者(H21～H25:H28.9現在) (森林組合10人、林業事業体8人)</p> <p>○林業技術研修の開催 (主催:幅多流域林業活性化センター) 8月 架線(センイロープ)集材研修</p> <p>【再掲】 ○市有林整備事業 ・搬出間伐:11.8ha ・保育間伐:6.6ha ・作業道整備:L=1,610m</p>	<p>○林業の担い手育成事業 (事業主体:中村市森林組合) 四万十市産振総合補助金を活用 国予算の関係で緑の雇用の対象とならなかった新規採用者3名に対して実地指導等研修を実施</p> <p>【再掲】 ○市有林整備事業 ・搬出間伐:12.2ha ・保育間伐:32.0ha ・作業道整備:L=3,450m ・シカ食害防止ネット設置:10ha</p>	<p>四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業体 四万十ヒノキブランド化推進協議会 幅多林業活性化センター</p>	<p>◆経営能力の高い森林組合、林業事業体が効率的な生産活動を展開している</p> <p>◆効率的な林業生産活動を行うことができる優れた担い手が育成されている</p> <p>◆新規林業就業者数 →3人/年 H27:7人/年</p>		
○森林組合の経営力強化	<p>○「環境林整備事業」への新規取り組みなど、積極的な制度事業の活用による事業量(収益)の確保 ・12件 25.64ha</p> <p>【再掲】 ○環境林整備事業(組合等が県へ直接申請) ・木材生産を目的とせず、森林の環境公益の発揮を目指す森林を「環境林」と定め、切捨て間伐を実施 18.7ha、3,476千円</p>	<p>○「環境林整備事業」への新規取り組みなど、積極的な制度事業の活用による事業量(収益)の確保 随時受付</p> <p>【再掲】 ○環境林整備事業 事業を継続</p>				
(2)森林保育等の活動グループへのアプローチ						
★兼業型林業事業者の育成支援	<p>○林地残材の搬出促進 バイオマス証明書発行 11件(内公共事業関係8件) 7月末:71m³</p>	<p>○林地残材の搬出促進 バイオマス証明書発行を随時実施</p> <p>○高性能林業機械等整備 小規模林業事業者の高性能機械レンタルを支援(バックホウを予定)</p>	<p>四万十市(農林水産課) 兼業型林業事業者</p>	<p>◆林業生産活動を行う多様な担い手が育成されている</p>	<p>【課題】 ○小規模事業者も出材しやすい仕組み(中間土場等)づくり</p>	
(3)自伐林家及び集落組織等の育成						
★自伐林家及び集落組織等の育成	<p>【再掲】 ○林地残材の搬出促進 バイオマス証明書発行 11件(内公共事業関係8件) 7月末:71m³</p> <p>○森林・山村の多面的機能発揮対策交付金事業 ・14組織申請:26,024千円 活動組織:14組織(「東富山の森を生かす会」ほか) 里山保全活動:90.3ha 侵入竹除去:16.1ha 森林資源利用:24.55ha 森林機能強化:L=1,000m(作業道整備) 資機材:チェーンソー4、刈払機1、苗100</p>	<p>【再掲】 ○林地残材の搬出促進 バイオマス証明書発行を随時実施</p> <p>○森林・山村の多面的機能発揮対策交付金事業 次年度の補助要望等の情報収集</p>	<p>四万十市(農林水産課) 自伐林家等</p>	<p>◆林業生産活動を行う多様な担い手が育成されている</p>	<p>【課題】 ○小規模事業者も出材しやすい仕組み(中間土場等)づくり</p>	

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更						
						分野					
						林業分野					
						2 供給体制の強化					
1. 加工事業体の生産力等強化											
(1)木材製品の生産の拡大・商品力の強化											
◎木材製品の生産の拡大・商品力の強化			四万十市(農林水産課) 製材加工事業者	◆木材・木製品製造品 出荷額等 H24: 7億5,000万円 → H31: 8億円 H25: 7億9,477万円 H26: 8億3,330万円	【課題】 加工力強化のタイミングと資金調達						
(2)木工製品の生産の拡大・商品力の強化											
★木工製品の生産の拡大・商品力の強化			四万十市(農林水産課) 製材加工事業者	◆木材・木製品製造品 出荷額等 H24: 7億5,000万円 → H31: 8億円 H25: 7億9,477万円 H26: 8億3,330万円	【課題】 加工力強化のタイミングと資金調達						
2. 供給体制の効率化											
(1)市産材製品ストック施設整備											
★市産材製品のストック施設整備			四万十市(農林水産課)	◆市産材製品ストック 施設整備 → H31: 整備	【課題】 ○ストック材の設計寸法の調整・整理 まずは、公共建築物でのストックを目指す						
(2)山元選別の促進による流通経費の削減											
★山元選別の促進による流通経費の削減			四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業体 製材加工事業者	◆流通の効率化が進み、市産材の流通量が拡大している	【課題】 ○山元から直接仕入れしている製材事業者もあるが、一部にとどまっている						
(3)木材流通ネットワークの構築											
★木材流通ネットワークの構築	○幡多流域林業活性化センター 7月～ 通常総会ほか ・会員: 26団体 (素材生産・加工・流通事業者、建築団体、関係行政機関) ・林業生産性の向上、林業技術者の確保・育成、製材・加工・流通事業者、利用者(建築等)間の連携促進 ・架線(センイロープ)集材研修 (8月: 2回日)		四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業体 製材加工事業者 設計・建築事業者	◆川上(素材生産・加工)から川下(設計・建築)までの事業者間連携が図られ、市産材の流通量が拡大している							
3 市産材の利用促進と販売力の強化											
1. 市産材の利用促進											
(1)公共建築等での市産材の率先利用											
◎公共建築物の木造化・木質化の促進	○H28建築計画 ・具同地区防災活動拠点施設(木造: 木材使用量22㎡) ・東山地区防災活動拠点施設(木造: 木材使用量19㎡) ・坂本地区防災コミュニティセンター (木造: 木材使用量39㎡)	○H28建築計画 ・東山小学校区学童保育施設(木造) ○H29以降の建築計画について木造・木質化協議	四万十市(農林水産課)	◆公共建築物において、積極的に市産材が使われている	【課題】 ○大規模木造建築の地元設計事業者のノウハウの蓄積						

分野	戦略の柱	上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
	施策					
	アクションプラン					
	主要内容					
林業分野						
			【再掲】 ○フェア等への参加 10月 ・「高知もくもくランド2016秋まつり」へ出店PR (主催:高知県木材普及推進協会、高知県) (出店:四万十ヒノキブランド化推進協議会) ・かわらっこ村祭りで「四万十ヒノキの家」PR 11月 ・「幡多山もりフェス2016」出展 (主催:幡多山もりフェス実行委員会) (出店:(株)かわらっこ) 「四万十ヒノキの家」をPR予定 ○協働の森づくり(4企業・・・体験交流、四万十ヒノキPR) 11月間伐体験(3企業) (株)清流メンテナンス 浅野環境ソリューション(株) 日鉄住金環境プラントソリューションズ(株) KDDI(株) (予定なし)			
	(2)四万十ヒノキ製品の生産拡大、商品力の強化					
	【再掲】 ◎木材製品の生産の拡大・商品力の強化 【再掲】 ★木工製品の生産の拡大・商品力の強化			四万十市(農林水産課) 製材加工事業者	◆木材・木製品製造品 出荷額等 H24:7億5,000万円 → H31:8億円 H25:7億9,477万円 H26:8億3,330万円	【課題】 加工力強化のタイミングと資金調達
	(3)四万十ヒノキ製品の販売力の強化					
	◎四万十ヒノキ製品の販売力の強化		【再掲】 ○四万十ヒノキブランド化推進協議会 10月 「高知もくもくランド2016秋まつり」へ出店PR (主催:高知県木材普及推進協会、高知県) 四万十ヒノキのPR	四万十市(農林水産課) 四万十ヒノキブランド化推進協議会	◆「四万十ヒノキ」として知名度が向上し、大消費地での販路が拡大している	
4 健全な森づくり						
1. 人と鳥獣の良好・適切な環境づくり						
(1)鳥獣被害対策						
	【再掲】 ◎防護柵の設置と捕獲の促進 【再掲】 ○防護柵設置(県補助) 交付決定額1,887千円 30件、L=7,240m予定 ○国防護柵設置 (事業主体:四万十市有害鳥獣被害対策協議会) 交付決定額 37,215千円 延長102,100m予定	【再掲】 ○防護柵設置(県補助) 事業を継続 ○国防護柵設置 事業を継続	【再掲】 ○防護柵設置(県補助) 事業を継続 ○国防護柵設置 事業を継続	四万十市(農林水産課) 四万十市有害鳥獣被害対策協議会	◆シカの捕獲頭数 H26:4,446頭 → H31:6,000頭 H27:4,055頭	【課題】 ○シカについては調査が行われ生息数が把握できているが、イノシシについては把握できていない

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更						
						分野					
						林業分野					
						(2)捕獲の担い手確保、育成					
	○有害鳥獣捕獲報奨金による捕獲 9月現在:西土佐分+中村分 シカ 284+894=1,178頭 イノシシ 146+580=726頭 サル 7+9=16頭 ハクビシン 35+201=263頭	○有害鳥獣捕獲報奨金による捕獲 随時実施									
◎捕獲の担い手の確保、育成	○新規狩猟者の確保 ・広報6月号でPR ○新規狩猟者免許試験予備講習会受講料補助 ・利用者数:9人 ○新規狩猟者射撃教習受講料補助 ・利用者数:1人	○新規狩猟者の確保 ・広報11月号でPR ○新規狩猟者免許試験予備講習会受講料補助 ・利用者見込み:26人 ○新規狩猟者射撃教習受講料補助 ・利用者見込み:1人	四万十市(農林水産課) 猟友会	◆シカの捕獲頭数 H26:4,446頭 → H31:6,000頭 H27:4,055頭							
2. 森のものの活用											
(1)特用林産物の生産活動の支援とPR											
◎特用林産物の生産活動への支援とPR ★新規就業者の育成		○特用林産物の生産活動支援 椎茸原木購入補助金 年間利用数見込み:1,050石	四万十市(農林水産課)	◆特用林産物 (しいたけ、木炭)生産量 H25:48,466kg → H31:55,000kg H26:29,784kg	【課題】 ○専業での新規就業は価格、規模の問題から難しい						

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度】

分野		上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
戦略の柱	アクションプラン 主な内容					
施策						
水産業分野						
1 水産資源の回復・生産量UP						
1. 天然水産資源の回復・増殖						
(1)漁場環境、資源量等の調査・研究						
◎漁場環境、資源量等の調査・研究 ◎調査結果の広報活動	○高知大学連携事業による調査等 (事業主体:四万十市・高知大学連携事業推進会議) 地方創生加速化交付金を活用 ・天然スジアオリ生産量アップの取り組み 河川環境調査(毎月) 生態・生育調査(毎月) ○四万十川漁業振興協議会補助金 7月～ アユの冷水病調査	○高知大学連携事業による調査等 ・天然スジアオリ生産量アップの取り組み 河川環境、生態・生育調査調査の継続 10月 調査結果報告会開催 ・天然アユの資源回復の取り組み 10月 調査結果報告会開催 10月～11月 産卵場調査 1月～3月 浮遊期仔魚(河口・海域)調査 生育場(下流域)調査 水質調査 ○四万十川漁業振興協議会補助金 ・アユの冷水病調査継続 ・10月頃～ アユの生殖腺調査	四万十市(農林水産課) 四万十市・高知大学 連携事業推進会議 四万十川漁業振興 協議会 漁業協同組合	◆漁場環境や資源量等の継続 的な把握と減少要因の分析が 進み、漁業者と情報が共有さ れ、天然資源の回復・増殖に 向け関係者が連携した取組み が進んでいる	【課題】 ○市民、漁業者の意識と機運の醸成 ○人為的な対策による増産手法 の提案に対する実現性	
(2)生育・漁場環境の保全・整備						
○スジアオリ生育・漁場環境の保 全・整備 ○アユの産卵場の再生と保安全管理 ○イセエビ漁礁設置による漁場整 備	○国土交通省・四万十川自然再生協議会による整備 ・四万十川自然再生事業 アユの瀬づくり、魚のゆりかごづくりを推進 (コアモ場の造成など)	○スジアオリ漁場整備支援 四万十川下流漁協の要望により河川形状整備等を予定	四万十市(農林水産課) 四万十川自然再生 協議会 漁業協同組合	◆内水面漁業漁獲量 H24:56t → H31:65t H25:66t H26:65t ◆海面漁業漁獲量 H24:30t → H31:35t H25:24t H26:22t		
2. 栽培漁業の推進						
(1)効果的な種苗放流の推進						
★効果的な放流技術の確立 ○内水面資源の種苗放流 ○沿岸資源の種苗放流	○稚アユ等放流補助金 (事業主体:四万十川中央漁業協同組合) ・稚アユ放流 899kg ・ツガニ放流 3,000匹 ・ウナギ放流 74.06kg ○稚アユ等放流補助金 (事業主体:四万十川西部漁業協同組合) ・稚アユ放流 870kg ・ツガニ放流 1,000匹 ・アメゴ放流 30kg ・ウナギ放流 68.76kg ○ヒラメ稚魚放流補助金 (事業主体:下田漁業協同組合) ・ヒラメ稚魚放流 4,300匹		四万十市(農林水産課) 漁業協同組合	◆内水面・沿岸資源の 種苗放流 H31:維持	【課題】 ○アユ、ヒラメについて漁獲量がば らついており、放流量の検証が難し い	

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度】

分野		上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
戦略の柱						
施策						
アクションプラン 主要内容						
水産業分野						
(2)アオサの生産拡大						
★区画あたりの生産拡大 ★新たな漁場の開拓と新規参入の促進 ◎生産・品質管理の徹底		○四万十川漁業振興協議会 栽培環境調査(水温、塩分濃度の計測) 10月～ ヒトエグサ漁場2カ所に10分毎に水温塩分を測定する自記式水温塩分計を設置予定	四万十市(農林水産課) 四万十川漁業振興協議会 四万十川下流漁業協同組合	◆安定した生産量と品質が確保され、入札業者の増加と高値安定が確保されている ◆内水面漁業漁獲量 H24:56t → H31:65t H25:66t H26:65t		
(3)スジアオノリの栽培技術の研究と実践						
★スジアオノリの栽培技術の研究と実践	○産学官連携スジアオノリ自然栽培(養殖)推進事業 (事業主体:四万十市・高知大学連携事業推進会議 四万十川下流漁業協同組合) 地方創生加速化交付金を活用 ・種付け施設指導・整備 9月末～ 種付け開始	○産学官連携スジアオノリ自然栽培(養殖)推進事業 ・種付け施設指導・整備 10月～ 種付け後使用する蓄養施設設備 ・自然栽培事業調査 (実施主体:四万十川下流漁業協同組合) 11月 浮かし網による自然栽培の実践 (養殖網(縦18m×横1.2m)120枚河川設置予定) 平成28年度生産目標216kg	四万十市(農林水産課) 四万十市・高知大学連携事業推進会議 四万十川下流漁業協同組合	◆スジアオノリ自然栽培生産量 H31:5t		
3. 地域に根差した資源管理の仕組みづくり						
(1)漁場利用の新たなルールづくり						
★漁場利用のための新たなルールづくり	○エビ資源保護の協議 (実施主体:四万十川漁業振興協議会) 各単協自主規制(本数、漁期等)		四万十市(農林水産課) 四万十川漁業振興協議会	◆市民、漁業者の意識と機運が高まり、資源管理の取組みが進んでいる	【課題】 ○漁業者の意識の醸成と相互理解	
(2)資源保護のための情報発信の強化						
◎資源保護のための情報発信の強化	【再掲】 ○高知大学連携事業による調査等 (事業主体:四万十市・高知大学連携事業推進会議) 地方創生加速化交付金を活用 ・天然スジアオノリ生産量アップの取組み 河川環境調査(毎月) 生態・生育調査(毎月)	○禁漁期間の周知と資源保護の啓発 10月 市広報で「ウナギ禁漁期間」の周知 【再掲】 ○高知大学連携事業による調査等 ・天然スジアオノリ生産量アップの取組み 河川環境、生態・生育調査調査の継続 10月 調査結果報告会開催 ・天然アユの資源回復の取組み 10月 調査結果報告会開催	四万十市(農林水産課) 漁業協同組合 高南幡東漁業秩序を守る会(海面漁業)	◆市民、漁業者の意識と機運が高まり、資源管理の取組みが進んでいる		
4. 担い手の確保、育成						
(1)協業化の促進						
★協業化の促進			四万十市(農林水産課) 漁業協同組合	◆漁業協同組合や漁業者間の連携が促進され、協業化の動きが生まれている	【課題】 ○漁業者の意識の醸成と相互理解	

分野		上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
戦略の柱						
施策						
アクションプラン 主な内容						
水産業分野						
(2)新規就業者のための研修・フォローアップ						
★講習会、研修会の開催 ◎受入漁家による研修制度の拡充 ★フォローアップ体制の確立				四万十市(農林水産課) 漁業協同組合	◆漁業体験研修の受講者数 H27~H31の5年間で3人 H27:-人	【課題】 ○受入漁業者の確保
2 水産物の加工、販売促進						
1. 水産物の高付加価値化の推進						
(1)今ある商品の磨き上げ						
◎品質管理の向上 ★商品力の強化		【商工業分野と共通】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よつて西土佐」関連) (実施主体: (株)西土佐ふるさと市) 地方創生加速化交付金を活用 テストマーケティング、試食会、デザイナー招致等による商品の磨き上げ、新商品開発、ブランディング等 ・水産物販売促進事業(あゆ市場)	【商工業分野と共通】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よつて西土佐」関連) ・新商品開発、ブラッシュアップ、テストマーケティング 10月~ WSを3回実施し、1月以降に都市圏でのテストマーケティング等を実施予定(まるごと高知等) ・クラウドファンディングを活用したファンづくり(10月~) ・百貨店バイヤー等招致研修会(1月~ あゆ市場)	四万十市 (農林水産課・産業建設課・観光商工課) 漁業協同組合 (株)西土佐ふるさと市	◆安定した品質が確保され、販売額の増加につながっている	【課題】 ○水産資源の安定確保
(2)新たな商品開発						
★未利用資源等の掘起しと利活用 ★新たな商品の企画・開発の支援		【再掲: 商工業分野と共通】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よつて西土佐」関連) (実施主体: (株)西土佐ふるさと市) 地方創生加速化交付金を活用 ・道の駅地域産品開発等特別対策事業 食品加工開発等支援(水産関連事業採択申請1件)	【再掲: 商工業分野と共通】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よつて西土佐」関連) ・新商品開発、ブラッシュアップ、テストマーケティング 10月~ WSを3回実施し、1月以降に都市圏でのテストマーケティング等を実施予定(まるごと高知等) ・百貨店バイヤー等招致研修会(1月~ あゆ市場) 【観光業分野と共通】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 地方創生加速化交付金を活用 「(仮称)四万十の食研究会」を設立し、地域の食材、食文化の掘起しと磨き上げ、「四万十の食」の開発(アドバイザー招致等)	四万十市 (農林水産課・産業建設課・観光商工課) 漁業協同組合	◆一次産品等を活かした新商品の開発 →H31: 15アイテム H27: 25アイテム ※水産加工品以外を含む	【課題】 ○水産資源の安定確保
2. 販売力の強化と販路拡大						
(1)漁協の販売力の強化						
◎漁協の販売機能の強化 ★販路を見据えた漁業		○道の駅「よつて西土佐」開設 四万十川西部漁協「あゆ市場」出店 【再掲: 商工業分野と共通】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よつて西土佐」関連) (実施主体: (株)西土佐ふるさと市) 地方創生加速化交付金を活用 テストマーケティング、試食会、デザイナー招致等による商品の磨き上げ、新商品開発、ブランディング等	○製氷機入替工事補助金 (事業主体: 下田漁業協同組合) 10月 製氷機修繕予定 【再掲: 商工業分野と共通】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よつて西土佐」関連) ・新商品開発、ブラッシュアップ、テストマーケティング 10月~ WSを3回実施し、1月以降に都市圏でのテストマーケティング等を実施予定(まるごと高知等) ・クラウドファンディングを活用したファンづくり(10月~)	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 漁業協同組合	◆漁業協同組合の販売機能 H31: 強化	【課題】 ○水産資源の安定確保

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主な内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
水産業分野	<ul style="list-style-type: none"> 水産物販売促進事業(あゆ市場) 道の駅連携による販売促進 6月 R381道の駅関係者との交流会実施(よって西土佐) 9月 ±41℃交流準備会(出店:よって西土佐) 旭川市の商品を道の駅で販売 9月 北の恵みうまいものマルシェ2016(旭川市)に出店 (よって西土佐・ぼっぼ栗・あゆ市場) 外商活動 各スーパー等とのバイヤーと協議し、生鮮野菜を店頭で陳列(実績22店舗) この22店舗のうち、3店舗(フジ北浜店・フジ大洲店・ダイキ野市店)に「道の駅よって西土佐の産直コーナー」設置。残りの県内マルナカ19店舗においては「いごっそうなす」のみ販売展開 サテライトショップ(松山市)開業に向けた協議等 	<ul style="list-style-type: none"> 外商活動 県内マルナカ19店舗及びサンシャインの各店舗において「道の駅よって西土佐の産直コーナー」設置へ向けて協議調整を継続。 百貨店バイヤー等招致研修会(1月～) サテライトショップ松山 10月 サテライトショップ松山オープン R381上の道の駅商品をサテライトショップ松山で販売。幡多地域の道の駅の商品をサテライトショップ松山で販売できるよう取り組む <p>【商工分野と共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地産外商促進 10月 フェスティバル土佐ふるさとまつり 11月 枚方市交流物産展(あゆ市場) 12月 高知大丸「冬の味覚祭」出店(あゆ市場) 2月 四万十川流域観光物産展(あゆ市場) 			
(2)ブランド力の強化と販路拡大	<p>【再掲:商工業分野と共通】</p>	<p>【再掲:商工業分野と共通】</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ◎ブランディングの構築と発信 ★地元消費拡大フェアの開催 ★地産地消認証店制度 ★産業間連携や広域連携による外商活動 ○商談会等販路開拓・拡大の支援 	<p>【再掲:商工業分野と共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) (実施主体:(株)西土佐ふるさと市) 地方創生加速化交付金を活用 テストマーケティング、試食会、デザイナー招致等による商品の磨き上げ、新商品開発、ブランディング等 水産物販売促進事業(あゆ市場) 道の駅連携による販売促進 6月 R381道の駅関係者との交流会実施(よって西土佐) 9月 ±41℃交流準備会(出店:よって西土佐) 旭川市の商品を道の駅で販売 9月 北の恵みうまいものマルシェ2016(旭川市)に出店 (よって西土佐・ぼっぼ栗・あゆ市場) 外商活動 各スーパー等とのバイヤーと協議し、生鮮野菜を店頭で陳列(実績22店舗) この22店舗のうち、3店舗(フジ北浜店・フジ大洲店・ダイキ野市店)に「道の駅よって西土佐の産直コーナー」設置。残りの県内マルナカ19店舗においては「いごっそうなす」のみ販売展開 サテライトショップ(松山市)開業に向けた協議等 <p>【観光分野と共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食の発信・普及イベント等 7月 星の郷西土佐「天の川まつり」 8月 西土佐ふるさと市「夏の感謝祭」 	<p>【再掲:商工業分野と共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) 新商品開発、ブラッシュアップ、テストマーケティング 10月～ WSを3回実施し、1月以降に都市圏でのテストマーケティング等を実施予定(まるごと高知等) クラウドファンディングを活用したファンづくり(10月～) 外商活動 県内マルナカ19店舗及びサンシャインの各店舗において「道の駅よって西土佐の産直コーナー」設置へ向けて協議調整を継続。 百貨店バイヤー等招致研修会(1月～ あゆ市場)) サテライトショップ松山 10月 サテライトショップ松山オープン R381上の道の駅商品をサテライトショップ松山で販売。幡多地域の道の駅の商品をサテライトショップ松山で販売できるよう取り組む <p>【再掲:商工分野と共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地産外商促進 10月 フェスティバル土佐ふるさとまつり 11月 枚方市交流物産展(あゆ市場) 12月 高知大丸「冬の味覚祭」出店(あゆ市場) 2月 四万十川流域観光物産展(あゆ市場) <p>【観光分野と共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食の発信・普及イベント等 11月 黒尊むらまつり(あゆ市場) うまいもの商店街(あゆ市場) 	四万十市 (農林水産課・産業建設課・観光商工課) 漁業協同組合	<ul style="list-style-type: none"> ◆四万十川産の知名度、ブランド力が向上し、有利販売につながっている ◆産業祭来場者数 H25:2,000人 → H31:20,000人 H27:12,500人 	

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
水産業分野					
3. 魚食文化の磨き上げと発信					
(1)魚食文化の磨き上げ					
★魚食文化の磨き上げ 【再掲】 ★未利用資源等の掘起しと利活用		【再掲:観光分野と共通】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 地方創生加速化交付金を活用 「(仮称)四万十の食研究会」を設立し、地域の食材、食文化の掘起しと磨き上げ、「四万十の食」の開発(アドバイザー招致等) 【再掲:商工業分野と共通】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よつて西土佐」関連) (実施主体:(株)西土佐ふるさと市) 地方創生加速化交付金を活用 ・新商品開発、ブラッシュアップ、テストマーケティング 10月～ WSを3回実施し、1月以降に都市圏でのテストマーケティング等を実施予定(まるごと高知等) ・百貨店バイヤー等招致研修会(1月～ あゆ市場)	四万十市 (農林水産課・産業建設課・観光商工課) 漁業協同組合 中村料理飲食店組合	◆四万十の“食”として市内外の知名度が向上し、販売や交流人口の拡大につながっている。	
(2)魚食文化の発信強化					
★グルメイベント等での魚食文化の発信	【再掲:商工業分野と共通】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よつて西土佐」関連) (実施主体:(株)西土佐ふるさと市) 地方創生加速化交付金を活用 ・道の駅連携による販売促進 9月 北の恵みうまいものマルシェ2016(旭川市)に出店 (よつて西土佐・ぼっぼ栗・あゆ市場) 【観光分野と共通】 ○食の発信・普及イベント等 6月 四万十川花紀行「紫陽花まつり」 7月 星の郷西土佐「天の川まつり」 8月 西土佐ふるさと市「夏の感謝祭」	【再掲:商工業分野と共通】 ○地産外商促進 10月 フェスティバル土佐ふるさとまつり 11月 枚方市交流物産展(あゆ市場) 12月 高知大丸「冬の味覚祭」(あゆ市場) 2月 四万十川流域観光物産展(あゆ市場) 【再掲:観光分野と共通】 ○食の発信・普及イベント等 11月 黒尊むらまつり(あゆ市場) うまいもの商店街(あゆ市場)	四万十市 (農林水産課・産業建設課・観光商工課) 漁業協同組合 中村料理飲食店組合	◆四万十の“食”として市内外の知名度が向上し、販売や交流人口の拡大につながっている。	
3 水産資源を活用した交流の拡大					
1. 体験交流の推進					
(1)魅力ある体験商品づくり					
★体験商品の磨き上げ ★川の体験ガイドブックの作製	○川漁体験学習等 種苗放流体験、四万十川ガキ体験、親子川漁体験、アユのしゃくり漁体験 ※種苗放流以外は、冷水病でアユが確保できず取りやめ 【観光分野と共通】 ○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業 (事業主体:幡多広域観光協議会) 地方創生加速化交付金を活用 教育旅行用川漁体験プログラム		四万十市 (農林水産課・産業建設課) 漁業協同組合	◆体験・宿泊等のプラン 造成件数 H31:10アイテム H27:3アイテム ※漁業体験以外を含む	【課題】 ○持続可能な受け入れ体制の強化

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度】

分野		上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
戦略の柱	アクションプラン 主要内容					
施策						
水産業分野						
(2)体験教室等の開催						
◎体験教室の開催	<p>○種苗放流体験 (実施主体:四万十川漁業振興協議会) 各漁業協同組合の種苗放流時に実施 稚アユ放流体験:藤岡小学校、西土佐小学校 ヒラメ稚魚放流体験:下田小学校</p> <p>○四万十川ガキ体験 (実施主体:四万十の日実行委員会) 柴漬け漁、コロバシ漁、川遊び体験 対象:市内の幼児・小学生の親子 ※冷水病でアユが確保できず取りやめ</p> <p>○親子川漁体験 (実施主体:四万十の日実行委員会) 投網漁体験、アユのつかみどり 対象:市内小・中学生の親子 ※冷水病でアユが確保できず取りやめ</p> <p>○アユのしゃくり漁体験 (事業主体:四万十川漁業振興協議会、大用小中学校PTA) ※冷水病でアユが確保できず取りやめ</p>		<p>四万十市 (農林水産課・産業建設課) 漁業協同組合 四万十の日実行委員会</p>	<p>◆自然や漁業への関心と資源保護に対する市民意識が向上している</p>		

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
商工業分野					
1 顧客に選ばれる商工業の振興					
1. 地域資源を活かした商品開発					
(1) 今ある特産品等商品の磨き上げ					
○テストマーケティング ○商品の品質、ラベル等の磨き上げや表示の適正化	○四万十市特産品販路拡大事業 (実施主体:しまんと百笑かんぱに(株)) 四万十市産振総合補助金を活用 食品関連業者以外も集まる展示会へ出展し、取扱商品の販路拡大を図る 9月 ROOMS33(東京)出展 【各分野共通】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) (実施主体:(株)西土佐ふるさと市) 地方創生加速化交付金を活用 テストマーケティング、試食会、デザイナー招致等による商品の磨き上げ、新商品開発、ブランディング等 ・試食会 道の駅で月1回のペースで実施(旬の野菜のフェア) ・新商品開発、ブラッシュアップ 地元デザイナーと連携し取り組みを実施。10月からWSを開催予定 ・外商活動 各スーパー等とのバイヤーと協議し、生鮮野菜を店頭陳列(実績22店舗) この22店舗のうち、3店舗(フジ北浜店・フジ大洲店・ダイキ野市店)に「道の駅よって西土佐の産直コーナー」設置。残りの県内マルナカ19店舗においては「いごっそうなす」のみ販売展開	【農業分野と共通】 ○四万十市特産品等販売促進事業 (実施主体:四万十市地域商品研究会) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 11月 海外でのフェア出展(高知県物産展in台湾) 2月 グルメ&ダイニングスタイルショー(東京ビックサイト) 4業者出展 スーパーマーケットトレードショー(幕張メッセ) 4業者出展 【各分野共通】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) ・新商品開発、ブラッシュアップ、テストマーケティング 10月～ WSを3回実施し、1月以降に都市圏でのテストマーケティング等を実施予定(まるごと高知等) ・百貨店バイヤー等招致研修会 百貨店バイヤー等を招へいしての研修会を1月以降に実施予定 ・外商活動 県内マルナカ19店舗及びサンシャインの各店舗において「道の駅よって西土佐の産直コーナー」設置へ向けて協議調整を継続。 【農業分野と共通】 ○産地視察型商談会の開催 1～3月 実施に向け県と協議	四万十市 (観光商工課・産業建設課・農林水産課) 関係団体・組織 事業者 生産者	◆商品の磨き上げに積極的に取り組む事業者が増加している ◆加工原料の安定確保と地域資源の付加価値向上により、雇用創出と生産者の所得向上につながっている。	【課題】 ○緊急雇用事業等の終了に伴い、各事業者の販促経費は縮小しており、ターゲットを絞りこんだ販促活動の実施や、支援策の活用が求められる ○地域商品研究会における会員の確保と取組みの拡大 ○中村・西土佐地域の事業者間で連携・協働した商品開発、販売促進活動等の推進
	【農業分野と共通】 ○地域の頑張る人づくり事業 (事業主体:四万十市地域商品研究会) マーケティングや販路開拓等に関する研修を行い効果的な外商活動を企画・展開できる人材育成を図る。 研修実施及び研修テーマ(実績:3回) 5月 これからの売上げづくりの考え方 7月 マーケティング戦略の考え方 9月 四万十ブランドを利用した販売戦略 ○四万十市特産品販路拡大事業 (実施主体:しまんと百笑かんぱに(株)) 四万十市産振総合補助金を活用 7月～ 安全で長期保存できる商品に改善することで販路の拡大を図る。 ○地元素材を活用した新商品開発・販促事業 (実施主体:WANLIFE) 四万十市産振総合補助金を活用 7月～ 品質に関して分かり易い表示となるよう商品の裏ラベルを一新 ○四万十餃子企画開発・販路開拓事業 (事業主体:(株)衛和) 四万十市産振総合補助金を活用 7月～ 商品ロゴやパッケージ等を一新し、デザインの統一感を出すことで商品の訴求力を向上させる	【農業分野と共通】 ○地域の頑張る人づくり事業 10月～2月 4回の研修 研修テーマ(予定) ・SNSを活用したマーケティング戦略 ・クレーム対応 ・成長分野とのビジネスマッチング ・自社商品のプレゼンテーション			

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
商工業分野	<p>○研修事業等の情報提供(県主催)等 5月～ 食品表示セミナー(県主催)等 6月～ 衛生管理関連研修(県主催)等</p> <p>【再掲:農業分野共通】</p> <p>○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よつて西土佐」関連) (実施主体:(株)西土佐ふるさと市) 地方創生加速化交付金を活用</p> <p>テストマーケティング、試食会、デザイナー招致等による商品の磨き上げ、新商品開発、ブランディング等</p> <ul style="list-style-type: none"> 道の駅地域産品開発等特別対策事業 食品加工開発等支援(事業採択申請4件) 	<p>【再掲:農業分野共通】</p> <p>○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よつて西土佐」関連)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新商品開発、ブラッシュアップ、テストマーケティング 10月～ WSを3回実施し、1月以降に都市圏でのテストマーケティング等を実施予定(まるごと高知等) 道の駅地域産品開発等特別対策事業 食品加工開発等支援(事業採択申請1件予定) 百貨店バイヤー等招致研修会(1月～) 			
◎加工原料の安定確保に向けたマッチングの促進	<p>【再掲:農業分野共通】</p> <p>○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よつて西土佐」関連) (実施主体:(株)西土佐ふるさと市) 地方創生加速化交付金を活用</p> <p>テストマーケティング、試食会、デザイナー招致等による商品の磨き上げ、新商品開発、ブランディング等</p> <ul style="list-style-type: none"> 道の駅地域産品開発等特別対策事業 食品加工開発等支援(事業採択申請4件) 	<p>【再掲:農分野共通】</p> <p>○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よつて西土佐」関連)</p> <ul style="list-style-type: none"> 道の駅地域産品開発等特別対策事業 食品加工開発等支援(事業採択申請1件予定) ミニハウスレンタル事業(3棟予定) <p>○農商工連携検討チームの開催 2～3月 年度実績及び次年度事業計画の確認等</p>			
(2)魅力ある素材・アイデアの掘起し	<p>【再掲:農業分野と共通】</p> <p>○地域の頑張る人づくり事業 (事業主体:四万十市地域商品研究会) マーケティングや販路開拓等に関する研修を行い効果的な外商活動を企画・展開できる人材育成を図る。 研修実施及び研修テーマ(実績:3回)</p> <p>5月 これからの売上づくりの考え方 7月 マーケティング戦略の考え方 9月 四万十ブランドを利用した販売戦略</p> <p>【観光分野共通】</p> <p>○地域おこし協力隊事業 6名配置 富山地区、大川筋・後川地区、須崎地区、大宮地区、奥屋内地区、半家地区にそれぞれ1名配置</p> <p>○地域のグループとの意見交換会等 地域の情報発信や商品開発等に向けた取組について総合的な支援策等を検討</p> <p>6月 片魚地区で集落活動センター説明会(県) (東富山を守る会)</p> <p>7月、8月 三ツ又地区でインターネットを活用した地域づくりや外商活動の協議(高知県地域づくり支援事業を活用予定)</p> <p>8月 大屋敷地区で地産外商のための協議</p>	<p>【再掲:農業分野と共通】</p> <p>○地域の頑張る人づくり事業 10月～2月 4回の研修 研修テーマ(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> SNSを活用したマーケティング戦略 クレーム対応 成長分野とのビジネスマッチング 自社商品のプレゼンテーション 	四万十市 (観光商工課・産業建設課・企画広報課) 関係団体・組織 事業者 生産者	<p>◆事業者や地域からの提案、相談に対してワンストップで対応できる体制が充実している</p> <p>◆一次産品等を活かした新商品の開発 →H31:15アイテム H27:25アイテム</p>	

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
商工業分野					
(3)新たな特産品等の商品開発 ○新たな商品・サービス等の企画・開発支援 ○アドバイザーの派遣 ○試作品のテストマーケティング	【再掲:各分野共通】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) (実施主体:(株)西土佐ふるさと市) 地方創生加速化交付金を活用 テストマーケティング、試食会、デザイナー招致等による商品の磨き上げ、新商品開発、ブランディング等 ・試食会 道の駅で月1回のペースで実施(旬の野菜のフェア) ・新商品開発、ブラッシュアップ 地元デザイナーと連携し取り組みを実施。10月からWSを開催予定 ・道の駅地域産品開発等特別対策事業 食品加工開発等支援(事業採択申請4件) ・外商活動 各スーパー等とのバイヤーと協議し、生鮮野菜を店頭陳列(実績22店舗) この22店舗のうち、3店舗(フジ北浜店・フジ大洲店・ダイキ野市店)に「道の駅よって西土佐の産直コーナー」設置。残りの県内マルナカ19店舗においては「いごっそうなす」のみ販売展開 【再掲:農業分野と共通】 ○地域の頑張る人づくり事業 (事業主体:四万十市地域商品研究会) マーケティングや販路開拓等に関する研修を行い効果的な外商活動を企画・展開できる人材育成を図る。 研修実施及び研修テーマ(実績:3回) 5月 これからの売上げづくりの考え方 7月 マーケティング戦略の考え方 9月 四万十ブランドを利用した販売戦略 【再掲】 ○地元素材を活用した新商品開発・販促事業 (実施主体:WANLIFE) 四万十市産振総合補助金を活用 7月~ 地域の素材にこだわった安全安心で、付加価値の高い「フット」の新商品やギフトセットを開発する	【再掲:各分野共通】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) ・新商品開発、ブラッシュアップ、テストマーケティング 10月~ WSを3回実施し、1月以降に都市圏でのテストマーケティング等を実施予定(まるごと高知等) ・道の駅地域産品開発等特別対策事業 食品加工開発等支援(事業採択申請1件予定) ミニハウスレンタル事業(3棟予定) ・百貨店バイヤー等招致研修会 百貨店バイヤー等を招へいしての研修会を1月以降に実施予定 ・外商活動 県内マルナカ19店舗及びサンシャインの各店舗において「道の駅よって西土佐の産直コーナー」設置に向けて協議調整を継続。 【再掲:農業分野と共通】 ○地域の頑張る人づくり事業 10月~2月 4回の研修 研修テーマ(予定) ・SNSを活用したマーケティング戦略 ・クレーム対応 ・成長分野とのビジネスマッチング ・自社商品のプレゼンテーション 【再掲:農業分野と共通】 ○特産品等販売促進事業 (実施主体:四万十市地域商品研究会) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 11月 海外でのフェア出展(高知県物産展in台湾) 2月 グルメ&ダイニングスタイルショー(東京ビックサイト) 4業者出展 スーパーマーケットトレードショー(幕張メッセ) 4業者出展 【再掲:農業分野と共通】 ○産地視察型商談会の開催 1~3月 実施に向け県と協議	四万十市 (観光商工課・産業建設課・農林水産課) 関係団体・組織 事業者 生産者	◆一次産品等を活かした新商品の開発 →H31:15アイテム H27:25アイテム	【課題】 ○食品加工品における類似製品との優位性、差別化
(4)商品の販路開拓・販売促進					
★地元消費拡大フェアの開催 ★地産地消認証店制度 ○商談会等販路開拓・拡大の支援	○商店街活性化モデル事業 (事業主体:中村商工会議所) 5月 公家行列及び地域産品の販促PRを支援	【農業分野共通】 ○四万十フェア開催(幡多広域地産外商推進協議会) 10月 岡山マルイ(津山市)にて幡多フェア開催 12月 土佐清水ワールド(神戸)に出展 ○大手居酒屋チェーンや県内外の飲食店への販促 ・12月 土佐清水ワールド(神戸)への出展 【再掲:農業分野と共通】 ○産地視察型商談会の開催 1~3月 実施に向け県と協議	四万十市 (観光商工課・産業建設課・農林水産課・企画広報課) 関係団体・組織 事業者 生産者	◆観光分野など産業間が連携し、多様な外商活動が展開されている ◆多様な広報・プロモーション活動が展開され、地域産品の販売促進につながっている ◆産業祭来場者数 H25:2,000人 → H31:20,000人 H27:12,500人	【課題】 ○緊急雇用事業等の終了に伴い、各事業者の販促経費は縮小しており、ターゲットを絞りこんだ販促活動の実施や、支援策の活用が求められる

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
商工業分野	<ul style="list-style-type: none"> ・外商活動促進 PV作成、都市圏での物産展、商談会等への出展ほか 9月 PVの撮影 9月 旭川市の物産展参加 ・水産物販売促進事業 (事業主体:四万十川西部漁協「あゆ市場」) ・地のモノを使ったスイーツ販売促進事業 (事業主体:四万十の山間屋「山間屋」) <p>★一元的な情報発信の促進</p> <p>【各分野共通】 ○シティプロモーション推進事業 地方創生推進交付金を活用</p> <p>本市の本質的な魅力、独自性を見極め、国内外から本市に目を向けられるコミュニケーションデザイン(コンセプト、メッセージ、キャッチコピー、ロゴデザイン等)をつくり、多様なツール・媒体(WEB、SNS等)を活用したプロモーションを展開</p> <p>5月～ コミュニケーションデザインの作製委託 6、7月 ワーキンググループ開催(2回) 9月 ワーキンググループ開催(1回)</p>	<p>【各分野共通】 ○シティプロモーション推進事業</p> <p>10月 四万十市のシンボル・メッセージロゴの作成 11月～ ロゴを活用したPRの展開検討・実施 シティプロモーション基本プラン(まとめ本)の事業化検討・実施</p>			
(5)商品開発、販路開拓の中核となる人材、組織の育成	<p>○事業者や地域グループ等の人材育成</p> <p>【再掲:農業分野と共通】 ○地域の頑張る人づくり事業 (事業主体:四万十市地域商品研究会) マーケティングや販路開拓等に関する研修を行い効果的な外商活動を企画・展開できる人材育成を図る。 研修実施及び研修テーマ(実績:3回) 5月 これからの売上げづくりの考え方 7月 マーケティング戦略の考え方 9月 四万十ブランドを利用した販売戦略</p>	<p>【再掲:農業分野と共通】 ○地域の頑張る人づくり事業</p> <p>10月～2月 4回の研修 研修テーマ(予定) ・SNSを活用したマーケティング戦略 ・クレーム対応 ・成長分野とのビジネスマッチング ・自社商品のプレゼンテーション</p>	四万十市 (観光商工課・産業建設課・農林水産課) 関係団体・組織 事業者 生産者	<p>◆組織を核として、事業者間で協働した商品開発、販路開拓等の取組みが円滑に推進されている</p>	<p>【課題】 ○地域商品研究会を核とする人材育成の取組みの推進、および西土佐地域との事業者との連携強化</p>
<p>★商品開発、販路開拓の推進組織の設立・運営</p>	<p>【再掲】 ○幡多広域地産外商推進協議会 幡多6市町村で協議会を新設し、共同で外商活動を展開 5月 協議会設立総会 6～9月 作業部会(4回) 岡山マルイ等への出展協議</p>	<p>【再掲】 ○幡多広域地産外商推進協議会 10月 岡山マルイ幡多フェア 12月 土佐清水ワールド(神戸)幡多フェア 1～3月 今年度の取組の検証と次年度の計画</p> <p>【再掲:農業分野と共通】 ○四万十市特産品販売促進事業 (実施主体:地域商品研究会) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</p> <p>11月 海外でのフェア出展(高知県物産展in台湾) 2月 グルメ&ダイニングスタイルショー(東京) スーパーマーケットトレードショー(東京)</p>			

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
商工業分野					
2. 四万十の“食”文化の磨き上げと発信					
(1) 四万十の“食”文化の磨き上げ					
○四万十の食文化の掘起し、磨き上げ ○塩たたきのブランド化の推進 【再掲】 ★地産地消認証店制度 ★ジビエ料理等の研究、普及	【観光分野と共通】 ○おもてなし向上事業 (実施主体: 四万十黒潮旅館組合) 四万十市産振総合補助金を活用 宿泊とのセットプランの造成・販売等 7月～ 「玉姫様と通行手形」との宿泊セットプラン (宿泊施設15、飲食店33と連携) ・四万十周遊バス(二次交通)との宿泊セットプラン ・スイーツ券付宿泊プラン ・外国人観光客向けに各宿泊施設の館内案内と食事メニューの多言語化(英語、中国語、韓国語など)	【観光分野と共通】 ○おもてなし向上事業 宿泊とのセットプランの造成・販売等の継続 【農業・観光分野と共通】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 地方創生加速化交付金を活用 「(仮称)四万十の食研究会」を設立し、地域の食材、食文化の掘起しと磨き上げ、「四万十の食」の開発(アドバイザー招致等)	四万十市 (観光商工課・産業建設課・農林水産課) 商工会議所、商工会 中村料理飲食店組合 四万十黒潮旅館組合 事業者 生産者	◆四万十の“食”として市内外の知名度が向上し、観光誘客など市街地への人の回遊につながっている。 ◆商店街通行者数(平日) H22～H26平均:4,725人/日 → H31:4,845人/日 H27:4,591人/日	
(2) 地域を拠点とした食の発信					
◎食の発信・普及イベント等の開催 【再掲】 ★一元的な情報発信の促進	【再掲: 農業・観光分野と共通】 ○四万十ぶしゅかん普及推進事業 (事業主体: 四万十ぶしゅかん生産者組合) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 8月 ぶしゅかんヌーボー解禁パーティー 【水産・観光分野共通】 ○食の発信・普及イベント等 6月 四万十川花紀行「紫陽花まつり」 7月 星の郷西土佐「天の川まつり」 8月 西土佐ふるさと市「夏の感謝祭」 【再掲: 各分野共通】 ○シティプロモーション推進事業 地方創生推進交付金を活用 本市の本質的な魅力、独自性を見極め、国内外から本市に目を向けられるコミュニケーションデザイン(コンセプト、メッセージ、キャッチコピー、ロゴデザイン等)をつくり、多様なツール・媒体(WEB、SNS等)を活用したプロモーションを展開 5月～ コミュニケーションデザインの作製委託 6、7月 ワーキンググループ開催(2回) 9月 ワーキンググループ開催(1回)	【再掲: 観光分野と共通】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 地方創生加速化交付金を活用 「(仮称)四万十の食研究会」を設立し、地域の食材、食文化の掘起しと磨き上げ、「四万十の食」の開発(アドバイザー招致等) 【水産・観光分野共通】 ○食の発信・普及イベント等 11月 黒尊むらまつり(四万十川花紀行「紅葉まつり」) うまいもの商店街 2月 四万十川流域観光物産展 【再掲: 各分野共通】 ○シティプロモーション推進事業 10月 四万十市のシンボル・メッセージロゴの作成 11月～ ロゴを活用したPRの展開検討・実施 シティプロモーション基本プラン(まとめ本)の事業化検討・実施	四万十市 (観光商工課・産業建設課・農林水産課・企画広報課) 商工会議所、商工会 中村料理飲食店組合 中村菓子パン工業組合 観光協会 四万十市観光振興連絡協議会 西土佐観光推進協議会 四万十黒潮旅館組合	◆四万十の“食”として市内外の知名度が向上し、観光誘客など市街地への人の回遊につながっている。 ◆産業祭来場者数 H25:2,000人 → H31:20,000人 H27:12,500人	
(3) 都市圏等を拠点とした食の発信					
【再掲】 ★産業間連携や広域連携による外商活動	【再掲: 農業・水産業・観光分野共通】 ○地産外商促進 6月 観光・物産展in大阪海遊館 9月 ぶしゅかん青玉キャンペーン (渋谷東急・福島屋六本木店)	【再掲: 農業・水産業分野共通】 ○地産外商促進 10月 フェスティバル土佐ふるさとまつり 12月 高知大丸「冬の味覚祭」出店(横西土佐ふるさと市) 【再掲: 農業分野共通】 ○四万十フェア開催 10月 岡山マルイ(津山市)にて幡多フェア開催 12月 土佐清水ワールド(神戸)に出展 【再掲: 農業・水産業分野共通】 ○枚方市・四万十市友好都市交流物産展 11月 枚方市交流物産展へ出展	四万十市 (観光商工課・産業建設課・農林水産課) 商工会議所、商工会 観光協会 事業者 生産者	◆観光分野など産業間が連携し、多様な外商活動が展開されている	

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更																																
商工業分野 ★県外を拠点とした店舗等による外商活動	<p>【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○四万十市ふるさと応援団事業 地元産品及び観光のPR、販売促進 5月 関東幡多四万十会(東京) 【再掲】 ○幡多広域地産外商推進協議会 幡多6市町村で協議会を新設し、共同で外商活動を展開 5月 協議会設立総会 6~9月 作業部会(4回) 岡山マルイ等への出展協議 【再掲】 ○地元素材を活用した新商品開発・販促事業 (実施主体:WANLIFE) 四万十市産振総合補助金を活用 9月 ペット博(大阪会場)に出展 【再掲:各分野共通】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よつて西土佐」関連) 地方創生加速化交付金を活用 <ul style="list-style-type: none"> ・サテライトショップ(松山市)開業に向けた協議等 6、7月 サテライト事前協議(西土佐、松山) 9月 改修工事 ・道の駅連携による販売促進 9月 ±41℃交流準備会(出店:よつて西土佐) 旭川市の商品を道の駅で販売 9月 北の恵みうまいものマルシェ2016(旭川市)に出店 (よつて西土佐・ぽっぽ栗・あゆ市場) ・外商活動促進 PV作成、都市圏での物産展、商談会等への出展ほか 9月 旭川市の物産展参加 	<p>【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○幡多広域地産外商推進協議会 10月 岡山マルイ幡多フェア 12月 土佐清水ワールド(神戸)幡多フェア 1~3月 今年度の取組の検証と次年度の計画 【再掲:農業分野と共通】 ○産地視察型商談会の開催 1~3月 実施に向け県と協議 【再掲】 ○地元素材を活用した新商品開発・販促事業 (実施主体:WANLIFE) 10月 ペット博(広島会場)に出展 1月 ペット博(横浜会場)に出展 【再掲:各分野共通】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よつて西土佐」関連) <ul style="list-style-type: none"> ・サテライトショップ松山 10月 サテライトショップ松山オープン R381上の道の駅商品をサテライトショップ松山で販売。幡多地域の道の駅の商品をサテライトショップ松山で販売できるよう取り組む ・外商活動促進 10月 県地産外商公社主催の商談会(東京)に参加 10月 津山市、11月枚方市の物産展に参加 その後も大阪圏、東京圏を中心に物産展に参加PR 																																			
3. 地震防災対策における建設事業の推進																																					
(1)施設の長寿命化・南海地震対策の強化による建設事業の確保																																					
○施設の長寿命化・南海地震対策の強化による建設事業の確保	○施設の長寿命化・南海地震対策関連の建設事業費(平成28年度当初予算額1,573,248千円) <table border="1" data-bbox="572 1543 1914 1879"> <tr> <td>・市道(橋梁)長寿命化・避難路等整備工事</td> <td>234,000千円</td> <td>・八東地区防災コミュニティセンター建築工事</td> <td>49,600千円</td> </tr> <tr> <td>・四万十川大橋耐震化整備(県営事業負担金)</td> <td>2,500千円</td> <td>・八東地区防災拠点施設耐震性給水施設整備工事</td> <td>112,125千円</td> </tr> <tr> <td>・津波避難路災害復旧工事</td> <td>9,000千円</td> <td>・中村中学校屋内運動場改築工事</td> <td>482,236千円</td> </tr> <tr> <td>・右山排水ポンプ場長寿命化工事</td> <td>111,000千円</td> <td>・市民ふれあいセンター耐震化工事</td> <td>28,547千円</td> </tr> <tr> <td>・臨時ヘリポート整備工事</td> <td>12,500千円</td> <td>・住宅等耐震改修助成事業</td> <td>67,740千円</td> </tr> <tr> <td>・八東地区防災拠点基地防災広場工事</td> <td>43,000千円</td> <td>・老朽住宅除去助成事業</td> <td>35,000千円</td> </tr> <tr> <td>・東山地区防災活動拠点施設建築工事</td> <td>36,000千円</td> <td>・耐震性貯留槽設置工事</td> <td>166,000千円</td> </tr> <tr> <td>・具同地区防災活動拠点施設建築工事</td> <td>34,000千円</td> <td>・水道管耐震化敷設替工事</td> <td>150,000千円</td> </tr> </table>	・市道(橋梁)長寿命化・避難路等整備工事	234,000千円	・八東地区防災コミュニティセンター建築工事	49,600千円	・四万十川大橋耐震化整備(県営事業負担金)	2,500千円	・八東地区防災拠点施設耐震性給水施設整備工事	112,125千円	・津波避難路災害復旧工事	9,000千円	・中村中学校屋内運動場改築工事	482,236千円	・右山排水ポンプ場長寿命化工事	111,000千円	・市民ふれあいセンター耐震化工事	28,547千円	・臨時ヘリポート整備工事	12,500千円	・住宅等耐震改修助成事業	67,740千円	・八東地区防災拠点基地防災広場工事	43,000千円	・老朽住宅除去助成事業	35,000千円	・東山地区防災活動拠点施設建築工事	36,000千円	・耐震性貯留槽設置工事	166,000千円	・具同地区防災活動拠点施設建築工事	34,000千円	・水道管耐震化敷設替工事	150,000千円		四万十市 (地震防災課ほか)	◆建設業を支える若年層の技術者が増加している ◆施設の長寿命化・南海地震対策 H31:強化 ◆住宅耐震化率 H26:64.1% → H31:65.66%	
・市道(橋梁)長寿命化・避難路等整備工事	234,000千円	・八東地区防災コミュニティセンター建築工事	49,600千円																																		
・四万十川大橋耐震化整備(県営事業負担金)	2,500千円	・八東地区防災拠点施設耐震性給水施設整備工事	112,125千円																																		
・津波避難路災害復旧工事	9,000千円	・中村中学校屋内運動場改築工事	482,236千円																																		
・右山排水ポンプ場長寿命化工事	111,000千円	・市民ふれあいセンター耐震化工事	28,547千円																																		
・臨時ヘリポート整備工事	12,500千円	・住宅等耐震改修助成事業	67,740千円																																		
・八東地区防災拠点基地防災広場工事	43,000千円	・老朽住宅除去助成事業	35,000千円																																		
・東山地区防災活動拠点施設建築工事	36,000千円	・耐震性貯留槽設置工事	166,000千円																																		
・具同地区防災活動拠点施設建築工事	34,000千円	・水道管耐震化敷設替工事	150,000千円																																		

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
商工業分野					
2 中心市街地・商店街の活性化					
1. 中心市街地、商店街の魅力・賑わいづくり					
(1)回遊性と集客力向上のための拠点づくり					
★土佐銀行跡地活用による拠点整備	○旧土佐銀行跡地利用調査研究 5月・8月 庁内検討委員会 6月 意見交換会 8月 運営会 飲食機能とコミュニティスペースとトイレを合わせ 持った施設とする方向で意見集約	○旧土佐銀行跡地利用調査研究 10月～3月 より詳細な事業計画の策定	四万十市 (観光商工課・産業建設課) 商工会議所・商工会 商店街振興組合 高知県 事業者 生産者	◆商店街通行者数(平日) H22～H26平均:4,725人/日 → H31:4,845人/日 H27:4,591人/日	【課題】 ○道の駅:R441号への大型バスの流入 繁忙期の駐車場対策 河川側の景観整備
○物産館サンリバー四万十との連携	○よさこい四万十2016 9月 よさこい四万十2016開催 サンリバー四万十、中村駅、各商店街等6箇所で、踊り子隊 28チーム1,200人が参加				
◎いちじょこさん市場(食の交流拠点)の機能強化	○地域・まちなか商業活性化支援事業 (実施主体:東下町商店街振興組合) 8月 東下町会館改築調査委員会 構成:高知大学、下町郵便局、地元自治会、高知県、商工会議所、 商店街よろず相談アドバイザー、県商店街振興組合連合会、市	○地域・まちなか商業活性化支援事業 高知大学地域協働学部による東下町周辺地域調査の実施 (ヒアリング調査、アンケート調査、マーケティング調査)			
★東下町会館の改築による拠点機能の強化					
★道の駅「よって西土佐」の整備・機能強化	【再掲:各分野共通】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) (実施主体:(株)西土佐ふるさと市) 地方創生加速化交付金を活用 テストマーケティング、試食会、デザイナー招致等による商品の磨き上げ、新商品開発、ブランディング等 ・月1回「旬の野菜のフェア」実施(試食会等) ・水産物販売促進事業(あゆ市場) ・地のモノを使ったスイーツ販売促進事業(ストローベイル) ・地産地消 ・農産物栽培計画指導(栽培講習会実施等) ・集出荷支援及び農産物の供給 週1回の農産物集荷 給食C、診療所、特養等への食材供給 ・道の駅地域産品開発等特別対策事業 食品加工開発等支援(事業採択申請4件) ・地域住民の居場所づくり(図書に親しむフェア開催ほか) 8月 道の駅よって西土佐で子ども教室を実施(3回) 高齢者の各種教室を実施 ・広域観光拠点機能 4月 デジタルサイネージ導入 ・道の駅連携による販売促進 6月 R381道の駅関係者との交流会実施(よって西土佐) 9月 ±41℃交流準備会(出店:よって西土佐) 旭川市の商品を道の駅で販売	【再掲:各分野共通】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) ・新商品開発、ブラッシュアップ、テストマーケティング 10月～ WSを3回実施し、1月以降に都市圏でのテストマーケティング等を実施予定(まるごと高知等) ・地産地消 ・農産物栽培計画指導(栽培講習会実施等) ・集出荷支援及び農産物の供給の継続 ・道の駅地域産品開発等特別対策事業 食品加工開発等支援(事業採択申請1件予定) ミニハウスレンタル事業(3棟予定) ・地域住民の居場所づくり(図書に親しむフェア開催ほか) 図書館と連携した教室、各種高齢者教室等を実施予定 ・広域観光拠点機能 デジタルサイネージ情報の更新等 ・おもてなし意識の醸成とインバウンド対応のスキル 研修を実施予定(10月～) ・クラウドファンディングを活用したファンづくり(10月～) ・外商活動 県内マルナカ19店舗及びサンシャインの各店舗において「道の駅よって西土佐の産直コーナー」設置へ向けて協議調整を継続。 て協議調整を継続。 ・百貨店バイヤー等招致研修会(1月～) ・サテライトショップ松山 10月 サテライトショップ松山オープン		◆道の駅「よって西土佐」入込客数 →H31:13万人	

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
商工業分野	9月 北の恵みうまいものマルシェ2016(旭川市)に出店 (よって西土佐・ぽっぽ栗・あゆ市場) ・外商活動 各スーパー等とのパイヤーと協議し、生鮮野菜を店頭陳列(実績22店舗) この22店舗のうち、3店舗(フジ北浜店・フジ大洲店・ダイキ野市店)に「道の駅よって西土佐の産直コーナー」設置。残りの県内マルナカ19店舗においては「いごっそうなす」のみ販売展開 ・サテライトショップ(松山市)開業に向けた協議等 ・地域おこし協力隊事業(道の駅2名配置)	R381上の道の駅商品をサテライトショップ松山で販売。幡多地域の道の駅の商品をサテライトショップ松山で販売できるよう取り組む			
(2)商店街の機能向上	【再掲】 ○旧土豫銀行跡地利用調査研究 5月・8月 庁内検討委員会 6月 意見交換会 8月 運営会 飲食機能とコミュニティスペースとトイレを合わせ持った施設とする方向で意見集約 ★商店街活性化の核となる人材の確保、育成 ○商店街空間整備 ◎情報発信機能の充実	【再掲】 ○旧土豫銀行跡地利用調査研究 10月～3月 より詳細な事業計画の策定	四万十市 (観光商工課・産業建設課・まちづくり課) 商工会議所・商工会 商店街振興組合	◆商店街通行者数(平日) H22～H26平均:4,725人/日 → H31:4,845人/日 H27:4,591人/日	
(3)日常の賑わいにつながる仕組みづくり	【再掲】 ○商店街活性化モデル事業 (事業主体:中村商工会議所) 5月 公家行列及び地域産品の販促PR(出店4業者) ○商店街活性化事業 (事業主体:各商店街振興組合) 中心市街地活性化に資する事業(夜市などのイベント)へ支援。下記の人数は推定人数。 7月 天神橋・東下町土曜夜市(3,172人) 天神橋土曜夜市(一) 8月 一条通土曜夜市(263人) 【観光分野と共通】 ○インバウンド(外国人観光客)受入体制向上事業 (事業主体:四万十市観光協会) 着物で街歩きプラン(KIMONOLOILOI)の販売 4月～ 着物レンタル(呉服店と連携)による小京都中村の「街歩き」体験メニュー	○しまんと商業振興支援事業 (事業主体:各商店街振興組合) 12月 天神橋ワンコイン商店街ツアー 12月 一条通まちなか博物館 ○小京都ジュニア駅伝大会 2月 小京都ジュニア駅伝大会実行委員会 【観光分野と共通】 ○インバウンド(外国人観光客)受入体制向上事業 (事業主体:四万十市観光協会) 着物で街歩きプラン(KIMONOLOILOI)の販売の継続	四万十市 (観光商工課・産業建設課) 商工会議所・商工会 商店街振興組合	◆商店街通行者数(平日) H22～H26平均:4,725人/日 → H31:4,845人/日 H27:4,591人/日 ◆商店街空き店舗対策補助件数 H26:2件/年 → H31:5件/年 H27:4件/年	【課題】 ○定着したイベントの維持、活性化と新たなイベントへの支援

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
商工業分野	【観光分野と共通】 ○おもてなし向上事業 (実施主体:四万十黒潮旅館組合) 四万十市産振総合補助金を活用 宿泊とのセットプランの造成・販売等 7月～ 「玉姫様と通行手形」との宿泊セットプラン (宿泊施設15、飲食店33と連携) ・四万十周遊バス(二次交通)との宿泊セットプラン ・「着物で街歩き」との宿泊セットプラン ・スイーツ券付宿泊プラン				
★個性が光る店舗の集積	○チャレンジショップ事業 (事業主体:天神橋商店街振興組合) 天神橋チャレンジショップTJB 毎月チャレンジの売上実績と課題に対する改善等についての意見 交換会(運営会議)を実施 9月末現在:2店舗 1店舗独立	○チャレンジショップ事業 10月～3月 運営会議 ○空き店舗対策事業 10月～3月 空き店舗入居者に対する店舗改修費の支援			
(4)空き店舗対策					
○空き店舗情報の発信強化とマッチング機会の提供	○天神橋商店街の空き店舗のマッチング (実施主体:天神橋商店街振興組合) チャレンジショップ事業を終えて営業を開始する方を中心に、商店街 の空き店舗の家主との調整を行う		四万十市 (観光商工課・産業建設課) 商工会議所・商工会 商店街振興組合	◆商店街空き店舗対策 補助件数 H26:2件/年 → H31:5件/年 H27:4件/年	【課題】 ○空き店舗調査の実施と空き店舗情報の集中 的な管理及び情報発信の体制づくり
◎空き店舗改修等の支援		【再掲】 ○空き店舗対策事業 10月～3月 空き店舗入居者に対する店舗改修費の支援			
2. 創業や経営革新への支援強化					
(1)経営指導などサポート体制の強化					
★経営指導などサポート体制の強化	○各種スキルアップ研修等への参加 (実施主体:中村商工会議所) 随時 基礎・応用能力研修会等への会員の受講を促進 ○中小企業振興資金貸付金等 4月 市内5金融機関に2500万円貸付	○各種スキルアップ研修等への参加 (実施主体:中村商工会議所) 随時 基礎・応用能力研修会等への会員の受講を促進 ○中小企業振興資金貸付金等 3月 各金融機関から返済 貸付実績の検証	四万十市 (観光商工課・産業建設課) 商工会議所・商工会	◆創業に関する相談件数 H26:8件/年 → H31:45件/年 H27:38件/年	
(2)創業や経営革新に意欲ある事業者 (人材)の育成、スキルアップ					
○事業者の育成、スキルアップ	【再掲:農業分野共通】 ○地域の頑張る人づくり事業 (事業主体:四万十市地域商品研究会) マーケティングや販路開拓等に関する研修を行い効果的 な外商活動を企画・展開できる人材育成を図る。 研修実施及び研修テーマ(実績:3回) 5月 これからの売上げづくりの考え方 7月 マーケティング戦略の考え方 9月 四万十ブランドを利用した販売戦略	【再掲:農業分野共通】 ○地域の頑張る人づくり事業 10月～2月 4回の研修 研修テーマ(予定) ・SNSを活用したマーケティング戦略 ・クレーム対応 ・成長分野とのビジネスマッチング ・自社商品のプレゼンテーション	四万十市 (観光商工課・産業建設課) 商工会議所・商工会	◆創業に関する相談件数 H26:8件/年 → H31:45件/年 H27:38件/年	

分野		上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
戦略の柱						
施策						
アクションプラン 主要内容						
商工業分野		<p>【再掲】</p> <p>○チャレンジショップ事業 (事業主体:天神橋商店街振興組合) 天神橋チャレンジショップTJB 毎月チャレンジャーの売上実績と課題に対する改善等についての意見交換会(運営会議)を実施 9月末現在:2店舗 1店舗独立</p>	<p>【再掲】</p> <p>○チャレンジショップ事業 10月～3月 運営会議</p> <p>【再掲】</p> <p>○空き店舗対策事業 10月～3月 空き店舗入居者に対する店舗改修費の支援</p>			
3 中山間地域の商業機能の確保						
1. 小さな(田舎)ビジネスの推進						
(1)集落、小グループが取り組むコミュニティビジネス等の発掘、育成						
<p>【再掲】</p> <p>◎事業者、地域等の提案を拾い上げる体制強化</p> <p>◎地域ならではのアイデア、資源を活かした商品開発</p>	<p>【再掲:農業分野共通】</p> <p>○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よつて西土佐」関連) (実施主体:(株)西土佐ふるさと市) 地方創生加速化交付金を活用</p> <p>テストマーケティング、試食会、デザイナー招致等による商品の磨き上げ、新商品開発、ブランディング等</p> <p>・道の駅地域産品開発等特別対策事業 食品加工開発等支援(事業採択申請4件)</p> <p>【再掲】</p> <p>○地域のグループとの意見交換会等 地域の情報発信や商品開発等に向けた取組について総合的な支援策等を検討</p> <p>6月 片魚地区で集落活動センター説明会(県) (東富山を守る会)</p> <p>7月、8月 三ツ又地区でインターネットを活用した地域づくりや外商活動の協議(高知県地域づくり支援事業を活用予定)</p> <p>8月 大屋敷地区で地産外商のための協議</p>	<p>【再掲:農業分野共通】</p> <p>○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よつて西土佐」関連)</p> <p>・道の駅地域産品開発等特別対策事業 食品加工開発等支援(事業採択申請1件予定) ミニハウスレンタル事業(3棟予定)</p>	<p>四万十市 (観光商工課・産業建設課・農林水産課・企画広報課・地域企画課)</p> <p>地域おこし協力隊 集落組織・グループ 事業者 生産者</p>	<p>◆事業者や地域からの提案、相談に対してワンストップで対応できる体制が充実している</p> <p>◆集落単位やグループの「小さなビジネス」展開など、地域連携や活性化の動きが広がっている</p>		
(2)地域の人、もの、コトの発信						
◎地域の人、もの、コトの発信	<p>【再掲:各分野共通】</p> <p>○シティプロモーション推進事業 地方創生推進交付金を活用</p> <p>本市の本質的な魅力、独自性を見極め、国内外から本市に目を向けられるコミュニケーションデザイン(コンセプト、メッセージ、キャッチコピー、ロゴデザイン等)をつくり、多様なツール・媒体(WEB、SNS等)を活用したプロモーションを展開</p> <p>5月～ コミュニケーションデザインの作製委託 6、7月 ワーキンググループ開催(2回) 9月 ワーキンググループ開催(1回)</p>	<p>【再掲:各分野共通】</p> <p>○シティプロモーション推進事業</p> <p>10月 四万十市のシンボル・メッセージロゴの作成 11月～ ロゴを活用したPRの展開検討・実施</p> <p>シティプロモーション基本プラン(まとめ本)の事業化検討・実施</p>	<p>四万十市 (観光商工課・産業建設課・企画広報課)</p>	<p>◆多様な広報・プロモーション活動が展開され、地域の活性化につながっている</p>		
(3)ビジネスの拠点づくり						
◎拠点ビジネスの推進	<p>○集落活動センター事業(実施主体:大宮集落活動センター)</p> <p>4月～ 地域資源や特性を活かした産業づくり 軽食・配食サービス、講演会、視察受け入れ等</p> <p>【再掲】</p> <p>○地域のグループとの意見交換会等 地域の情報発信や商品開発等に向けた取組について総合的な支援策等を検討</p>	<p>○集落活動センター事業(実施主体:大宮集落活動センター)</p> <p>事業を継続</p>	<p>四万十市 (観光商工課・産業建設課・農林水産課・企画広報課・地域企画課)</p> <p>高知県 事業者 生産者</p>	<p>◆集落単位やグループの「小さなビジネス」展開など、地域連携や活性化の動きが広がっている</p>		

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
商工業分野 ◎直販所の拠点機能の強化 【再掲】 ★道の駅「よって西土佐」の整備・機能強化	6月 片魚地区で集落活動センター説明会(県) (東富山を守る会) 7月、8月 ミツ又地区でインターネットを活用した地域づくりや外商活動の協議(高知県地域づくり支援事業を活用予定) 8月 大屋敷地区で地産外商のための協議 【再掲:各分野共通】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) (実施主体:(株)西土佐ふるさと市) 地方創生加速化交付金を活用 テストマーケティング、試食会、デザイナー招致等による商品の磨き上げ、新商品開発、ブランディング等 ・月1回「旬の野菜のフェア」実施(試食会等) ・水産物販売促進事業(あゆ市場) ・地のモノを使ったスイーツ販売促進事業(ストローベイル) ・地産地消 ・農産物栽培計画指導(栽培講習会実施等) ・集出荷支援及び農産物の供給 週1回の農産物集荷 給食C、診療所、特養等への食材供給 ・道の駅地域産品開発等特別対策事業 食品加工開発等支援(事業採択申請4件) ・地域住民の居場所づくり(図書に親しむフェア開催ほか) 8月 道の駅よって西土佐で子ども教室を実施(3回) 高齢者の各種教室を実施 ・広域観光拠点機能 4月 デジタルサイネージ導入 ・道の駅連携による販売促進 6月 R381道の駅関係者との交流会実施(よって西土佐) 9月 ±41°C交流準備会(出店:よって西土佐) 旭川市の商品を道の駅で販売 9月 北の恵みうまいものマルシェ2016(旭川市)に出店 (よって西土佐・ぽっぽ栗・あゆ市場) ・外商活動 各スーパー等とのバイヤーと協議し、生鮮野菜を店頭で陳列(実績22店舗) この22店舗のうち、3店舗(フジ北浜店・フジ大洲店・ダイキ野市店)に「道の駅よって西土佐の産直コーナー」設置。残りの県内マルナカ19店舗においては「いごっそうなす」のみ販売展開 ・サテライトショップ(松山市)開業に向けた協議等 ・地域おこし協力隊事業(道の駅2名配置)	【再掲:各分野共通】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) ・新商品開発、ブラッシュアップ、テストマーケティング 10月～ WSを3回実施し、1月以降に都市圏でのテストマーケティング等を実施予定(まるごと高知等) ・地産地消 ・農産物栽培計画指導(栽培講習会実施等) ・集出荷支援及び農産物の供給の継続 ・道の駅地域産品開発等特別対策事業 食品加工開発等支援(事業採択申請1件予定) ミニハウスレンタル事業(3棟予定) ・地域住民の居場所づくり(図書に親しむフェア開催ほか) 図書館と連携した教室、各種高齢者教室等を実施予定 ・広域観光拠点機能 デジタルサイネージ情報の更新等 ・おもてなし意識の醸成とインバウンド対応のスキル研修を実施予定(10月～) ・クラウドファンディングを活用したファンづくり(10月～) ・外商活動 県内マルナカ19店舗及びサンシャインの各店舗において「道の駅よって西土佐の産直コーナー」設置へ向けて協議調整を継続。 ・百貨店バイヤー等招致研修会(1月～) ・サテライトショップ松山 10月 サテライトショップ松山オープン R381上の道の駅商品をサテライトショップ松山で販売。幡多地域の道の駅の商品をサテライトショップ松山で販売できるよう取り組む		◆農林水産物等直販所販売額 H26:11億5,600万円 → H31:13億円 H27:11.89億円 ◆道の駅「よって西土佐」入込客数 →H31:13万人	
4 企業誘致					
1. 情報通信関連産業の誘致促進					
(1)誘致に向けたリサーチの徹底					
★誘致にかかるリサーチ	○企業誘致対策 県と連携した誘致企業の情報収集、アプローチ 7月 高知市内の誘致企業を訪問 誘致に当たっての課題や雇用確保策について聞き取りを行う。 訪問企業:irep,LifullBizas,Yahoo(県企業立地課同行)	○企業誘致対策 10月～3月:高知県との連携をとりながら 企業誘致に関する情報収集を図っていく。	四万十市 (観光商工課)	◆シェアオフィスへの誘致企業数 H31:2社 H27:-社	

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度】

分野		上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
戦略の柱						
施策						
アクションプラン 主な内容						
商工業分野						
(2)誘致活動の推進						
◎特色ある誘致情報の発信				四万十市 (観光商工課・農林水産課)	◆シェアオフィスへの誘致企業数 H31:2社 H27:-社	【課題】 ○支援体制、メニューの強化
★支援メニューの創設・受入体制づくり	○コールセンター等立地促進事業費補助金 (実施主体:E.A高知コンタクトセンター) 補助金交付決定金額:13,200,000円 内訳:償却資産に要する経費 9,000,000円 雇用奨励金:4,200,000円(契約社員7名分)	○コールセンター等立地促進事業費補助金 10月～3月 県とも連携を図りながら雇用確保のための方策の支援を企業に行いながら新たな雇用確保を目指す		◆既誘致企業での雇用者数 H31:20名増 H27:20名		
◎県と連動した誘致活動の推進	【再掲】 ○企業誘致対策 県と連携した誘致企業の情報収集、アプローチ 7月 高知市内の誘致企業を訪問 誘致に当たった課題や雇用確保策について聞き取りを行う。 訪問企業:irep,LifullBizas,Yahoo(県企業立地課同行)	【再掲】 ○企業誘致対策 10月～3月 高知県との連携をとりながら 企業誘致に関する情報収集を図っていく。		◆次世代施設園芸等への誘致企業数 H31:1社 H27:-社		
(3)遊休施設等を利活用したシェアオフィス等の整備						
★シェアオフィス等の整備	○市内の遊休公共施設等についてシェアオフィスの立地可能性調査を実施 8月 中村地域の5箇所を現地視察 (竹屋敷小中、片魚小・中、常六小、勝間小)	○市内の遊休公共施設等についてシェアオフィスの立地可能性調査を実施 10月～3月 西土佐地域の遊休公共施設を現地視察、県内のシェアオフィスの視察		四万十市(観光商工課)	◆シェアオフィスへの誘致企業数 H31:2社 H27:-社	

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
観光分野					
1 滞在型の観光地づくり					
1. 地域の観光資源、フィールドを活かした滞在型の観光商品づくり					
(1)観光リサーチの徹底					
◎観光マーケティングリサーチ ★四万十市のどこが好きキャンペーンの実施	○観光動向等アンケート調査 4月～ 観光案内所(観光協会)窓口で外国人観光客へのアンケート調査 5月 H27の観光動向調査の結果集計 平成27年に実施されたイベント・祭りの入込数及びキャンプ場・海水浴場・温泉施設の利用状況集計し観光動向調査報告書を作成 5月(GW)・8月(お盆) 佐田沈下橋で観光動向アンケート調査 ○「ここが魅力!四万十市」写真コンテストの開催 6月～ 作品募集 9月～ 受賞作品を市ホームページで公開し市民、観光客が選ぶ新たな四万十市の魅力を発信 ○県外旅行者、学校等への誘致活動(観光ニーズ調査) 6月 岡山方面 ○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業(事業主体:幡多広域観光協議会) 地方創生加速化交付金を活用 5月～ 商談会、旅行会社訪問(7回) 9月～ 体験予約(福利厚生サイト)を活用した誘客促進	○県外旅行者、学校等への誘致活動(観光ニーズ調査) 11月 関西方面 ○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業(事業主体:幡多広域観光協議会) 各種データの収集・分析、翌年度の事業への反映	四万十市(観光商工課) 観光協会 幡多広域観光協議会	◆マーケットインの視点に立った、満足度、リピート率の高い滞在型の観光商品づくりが進んでいる	
(2)今ある観光商品の磨き上げ					
◎観光商品としての検証と磨き上げ	【商工業分野と共通】 ○インバウンド(外国人観光客)受入体制向上事業(事業主体:四万十市観光協会) 着物で街歩きプラン(KIMONOLOILOI)の販売 4月～ 着物レンタル(呉服店と連携)による小京都中村の「街歩き」体験メニュー ○四万十市観光振興連絡会議 5月～ 「四万十川花紀行事業」について各部会で検証 ○西土佐観光推進協議会 7月 観光プログラムの検証等 ○四万十市体験型観光受入研究会 5月 体験プログラムの検証等 H28現在体験メニュー数:32プログラム ※幡多広域観光協議会取り扱い分 ○志国高知幕末維新博に向けた取組み 四万十市観光クラスター協議会開催 ・博覧会の取組みを通じて磨き上げた歴史資源と地域の「食」や「自然」など一体となった周遊コース等を整備 ・6月第1回、7月第2回・3回、8月第4回の協議会を開催	【商工業分野と共通】 ○インバウンド(外国人観光客)受入体制向上事業(事業主体:四万十市観光協会) 着物で街歩きプラン(KIMONOLOILOI)の販売の継続 【農業・商工業と共通】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 地方創生加速化交付金を活用 「(仮称)四万十の食研究会」を設立し、地域の食材、食文化の掘起しと磨き上げ、「四万十の食」の開発(アドバイザー招致等) ○西土佐観光推進協議会 西土佐地域の周遊観光プログラムの提案 ○「全国ほんものフォーラムin福島」大会参加 11月 大会参加を通じ、全国の先進事例を学ぶとともに 体験メニューの磨き上げ、人材育成にもつなげる ○志国高知幕末維新博に向けた取組み(H29.3開幕) 観光クラスター形成事業 ・周遊ガイドマップ作成 ・観光案内看板設置・改修 ・玉姫様の通行手形磨き上げ ・観光周遊クーポン冊子作成 ・歴史観光レンタサイクル購入 ・歴史等観光周遊バス運行 ・観光ガイド育成 他	四万十市(観光商工課) 観光協会 幡多広域観光協議会 四万十市観光振興連絡会議 西土佐観光推進協議会 四万十市体験型観光受入研究会	◆多様な実施主体が連携を強め、満足度、リピート率の高い滞在型の観光プログラムを持続的に展開している	【課題】 ○持続可能な実施組織・体制の強化

分野		上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
観光分野						
	○専門家を活用した観光商品の磨き上げ	○体験メニューの磨き上げ・開発 5月 アドバイザー(県観光アドバイザー)招致 滞在型観光メニュー開発ワークショップ開催 (道の駅よって西土佐)	【再掲:農業・商工業と共通】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 地方創生加速化交付金を活用 「(仮称)四万十の食研究会」を設立し、地域の食材、食文化の掘起しと磨き上げ、「四万十の食」の開発(アドバイザー招致等)			
(3)新たな観光商品づくり						
◎観光商品づくりワークショップの開催 ★異業種交流会の開催 ◎地域の産業と連携した新たな観光商品づくり ★閑散期のメニュー開発	【再掲:商工業分野共通】 ○インバウンド(外国人観光客)受入体制向上事業 (事業主体:四万十市観光協会) 着物で街歩きプラン(KIMONOLOILOI)の販売 4月～ 着物レンタル(呉服店と連携)による小京都中村の「街歩き」体験メニュー 【再掲】 ○体験メニューの磨き上げ・開発 5月 アドバイザー(県観光アドバイザー)招致 滞在型観光メニュー開発ワークショップ開催 (道の駅よって西土佐) 【商工業分野共通】 ○おもてなし向上事業 (実施主体:四万十黒潮旅館組合) 四万十市産振総合補助金を活用 宿泊とのセットプランの造成・販売等 7月～ ・「玉姫様と通行手形」との宿泊セットプラン (宿泊施設15、飲食店33と連携) ・トンボ王国誘客プラン ・四万十周遊バス(二次交通)との宿泊セットプラン ・「着物で街歩き」との宿泊セットプラン ・「ペットホテル」との宿泊セットプラン ・スイーツ券付宿泊プラン ○インバウンドどんこ来い! 四万十市インターナショナル田舎体験プログラム (実施主体:榊ソーラーファーム) 四万十市産振総合補助金を活用 急増傾向にある、東南アジアを中心とした外国人観光客をターゲットとした田舎暮らし体験プログラムを試行実施 6月～9月 ・アドバイザー招致 ・ウェブサイト製作 ・パンフレット作成 ○愛媛 西予 SEA TO SUMMIT 2016 視察 9月 アウトドアスポーツを通じて自然の循環を体感する環境スポーツイベントの視察 【水産業分野と共通】 ○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業 (事業主体:幡多広域観光協議会) 地方創生加速化交付金を活用 ・教育旅行用川漁体験プログラム ・一般旅行用サイクルナビシステム開発	【再掲:商工業分野共通】 ○インバウンド(外国人観光客)受入体制向上事業 (事業主体:四万十市観光協会) 着物で街歩きプラン(KIMONOLOILOI)の販売の継続 【商工業分野共通】 ○おもてなし向上事業 宿泊とのセットプランの造成・販売等の継続 【再掲:農業・商工業と共通】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 地方創生加速化交付金を活用 「(仮称)四万十の食研究会」を設立し、地域の食材、食文化の掘起しと磨き上げ、「四万十の食」の開発(アドバイザー招致等) 【再掲】 ○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業 (事業主体:幡多広域観光協議会) 地方創生加速化交付金を活用 ・一般旅行用サイクルナビシステム開発(継続)	四万十市(観光商工課) 観光協会 幡多広域観光協議会 四万十市観光振興連絡会議 西土佐観光推進協議会 四万十市体験型観光受入研究会	◆体験・宿泊等のプラン造成件数 →H31:10アイテム H27:3アイテム	【課題】 ○持続可能な実施組織・体制の強化	

分野		上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
戦略の柱						
施策						
アクションプラン 主な内容						
観光分野						
(4)食の魅力を活かした観光振興						
○食の魅力を活かした観光地づくり	<p>【再掲:商工業分野共通】</p> <p>○おもてなし向上事業 (実施主体:四万十黒潮旅館組合) 四万十市産振総合補助金を活用 外国人観光客向けに各宿泊施設の館内案内と食事メニューの多言語化(英語、中国語、韓国語など)</p>	<p>【再掲:農業・商工業共通】</p> <p>○食の魅力を活かした地域振興事業 地方創生加速化交付金を活用 「(仮称)四万十の食研究会」を設立し、地域の食材、食文化の掘起しと磨き上げ、「四万十の食」の開発(アドバイザー招致等)</p>	四万十市(観光商工課) 観光協会 四万十市観光振興連絡会議 西土佐観光推進協議会 四万十市体験型観光受入研究会 四万十黒潮旅館組合 商工会議所、商工会 中村料理飲食店組合 中村菓子パン工業組合	<p>◆四万十の“食”として市内外の知名度が向上し、観光誘客や観光消費額の拡大につながっている。</p> <p>◆一人当たりの観光消費額 H24:14,700円 → H31:18,150円 H27:8,884円</p> <p>◆産業祭来場者数 H25:2,000人 → H31:20,000人 H27:12,500人</p>	<p>【課題】</p> <p>○持続可能な実施組織・体制の強化</p>	
○食の発信・普及イベント等の開催	<p>【水産・商工業共通】</p> <p>○食の発信・普及イベント等 6月 四万十川花紀行「紫陽花まつり」 7月 星の郷西土佐「天の川まつり」 8月 西土佐ふるさと市「夏の感謝祭」</p> <p>【再掲:農業・商工業分野と共通】</p> <p>○四万十ぶしゅかん普及推進事業 (事業主体:四万十ぶしゅかん生産者組合) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 8月 ぶしゅかんヌーボー解禁パーティー</p>	<p>【水産・商工業共通】</p> <p>○食の発信・普及イベント等 11月 黒尊むらまつり(四万十川花紀行「紅葉まつり」) 2月 四万十川流域観光物産展</p>				
2. 広域連携による周遊観光の推進						
(1)広域連携による周遊観光の推進						
○周遊観光プランの造成・発信及び販売 ○広域連携によるキャンペーンの展開	<p>【再掲】</p> <p>○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光連携推進事業 (事業主体:幡多広域観光協議会) 地方創生加速化交付金を活用 宿泊施設と連携した体験商品販売のしくみを構築 9月～11月 HAPPYはたっぴーキャンペーンの展開 「泊まる」と「体験する」の2つの利用者に「はたっぴーグッズ」を進呈</p> <p>○四国西南地域観光連絡協議会 7月 第1回総会開催 9月 第3回ご当地キャラまつりin須崎参加 観光PR及び物産販売出展 11月 第2回総会開催予定(今年度事業の検証と来年度計画について)</p> <p>○予土県境地域連携実行委員会 3月～5月 「サイクルトレイン四万十号」運行 9月 「四万十・南予横断2リバービューライド」開催 サイクリスト向け補給食の開発(道の駅が提供)等</p> <p>○四万十川流域市町村観光振興連絡会 9月 総会開催 11月 担当者会開催予定 四万十川流域観光パンフレット増刷予定</p>	<p>【再掲】</p> <p>○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光連携推進事業 宿泊施設と連携した体験商品販売のしくみを構築 9月～11月 HAPPYはたっぴーキャンペーンの展開</p> <p>○四国西南地域観光連絡協議会 10月～ スポーツツーリズムポータルサイトの構築</p>	幡多広域観光協議会 ア工業境地域連携実行委員会 四万十川流域市町村観光振興連絡会 四国西南地域観光連絡協議会	<p>◆様々な広域連携の圏域(枠組み)の目的、特色を活かした周遊観光プランの造成、情報発信・販売が進み、多様な選択肢を備えた観光エリアとして、幅広い観光客が訪れている</p> <p>◆広域における一般観光客数 基準年: H31:53,750人増</p> <p>◆広域におけるスポーツ客数 基準年: H31:10,000人増</p> <p>◆広域における外国人延べ宿泊数 基準年: H31:13,300人泊</p> <p>◆広域組織における5つの機能 ①商品の企画・立案 ②商品の造成、販売、取扱 ③広報、情報発信、窓口 ④地域の人材育成 ⑤観光産業化 H31:1強化</p>	<p>【課題】</p> <p>○「四国ディスティネーションキャンペーン」、「志国高知幕末維新博」の開催に向けた広域連携と誘客・受入体制の強化</p>	

分野		上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
戦略の柱						
施策						
アクションプラン 主な内容						
観光分野						
2 観光商品の外商の推進						
1. 観光商品のセールス及び情報発信の強化						
(1)観光商品のセールス強化						
★営業力のある人材、組織の育成	○旅行業の取得 9月 第3種旅行業資格試験受験 ・四万十市観光協会:2名 ・幡多広域観光協議会:2名			四万十市(観光商工課) 観光協会 幡多広域観光協議会	◆観光人材・組織のスキル(商品企画、営業力等)が向上し、「待ちの誘客」から「動く誘客」にシフトしている	
◎旅行会社への営業活動の促進 ○旅行商品商談会等への出展	○観光客誘致宣伝活動実績 県外旅行者、学校等への誘致活動 6月 岡山方面 【再掲】 ○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業 (事業主体:幡多広域観光協議会) 地方創生加速化交付金を活用 5月～ 商談会、旅行会社訪問(7回) 9月～ 体験予約(福利厚生サイト)を活用した誘客促進	○観光客誘致宣伝活動 県外旅行者、学校等への誘致活動 11月 関西方面				
★海外への営業活動の促進	【再掲:商工業分野共通】 ○おもてなし向上事業 (実施主体:四万十黒潮旅館組合) 四万十市産振総合補助金を活用 外国人観光客向けに各宿泊施設の館内案内と食事メニューの多言語化(英語、中国語、韓国語など)	○海外への営業活動 11月 台湾の旅行会社、学校等を訪問予定				
(2)広報・プロモーションの強化						
○多様な媒体を活用した広報活動の強化	○観光大使設置 ・国内外への幅広い情報発信力を活かした広報活動を展開 委嘱状況:9月現在・・・15名委嘱	○観光大使設置 年度内に2名程度委嘱予定		四万十市 (観光商工課・企画広報課) 観光協会 幡多広域観光協議会	◆多様な広報・プロモーション活動が展開され、観光誘客につながっている ◆観光協会ホームページアクセス数 H26:119,577件 → H31:150,000件 H27: 137,953件	【課題】 ○PR効果の検証
★一元的な情報発信の促進 ★ターゲットに合わせたプロモーションの展開	○インバウンド(外国人観光客)受入先進地視察 6月 岐阜県高山市 【再掲】 ○インバウンドどんこ来い! 四万十市国際田舎体験プログラム (実施主体:(株)ソーラーファーム) 四万十市産振総合補助金を活用 急増傾向にある、東南アジアを中心とした外国人観光客をターゲットとした田舎暮らし体験プログラムを試行実施 6月～9月 ・アドバイザー招致 ・ウェブサイト製作 ・パンフレット作成 【再掲:各分野共通】 ○シティプロモーション推進事業 地方創生加速化交付金を活用 本市の本質的な魅力、独自性を見極め、国内外から本市に目を向けられるコミュニケーションデザイン(コンセプト、メッセージ、キャッチコピー、ロゴデザイン等)をつくり、多様なツール・媒体(WEB、SNS等)を活用したプロモーションを展開 5月～ コミュニケーションデザインの作製委託 6、7月 ワーキンググループ開催(2回) 9月 ワーキンググループ開催(1回)	○四万十市誘客用プロモーションビデオの製作 H29.1月完成予定 発信 地方創生企業版ふるさと納税活用事業 【再掲:各分野共通】 ○シティプロモーション推進事業 10月 四万十市のシンボル・メッセージロゴの作成 11月～ ロゴを活用したPRの展開検討・実施 シティプロモーション基本プラン(まとめ本)の事業化検討・実施				

分野		上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
戦略の柱						
施策						
アクションプラン 主な内容						
観光分野						
◎産業間連携や広域連携による誘客(PR)活動	○誘客(PR)活動の展開 5月 関東幡多四万十会・四万十ふるさと応援団交流会 6月 高知・四万十フェア(東京都) 9月 ご当地キャラまつりin須崎(須崎市) 【再掲】 ○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業 (事業主体:幡多広域観光協議会) 地方創生加速化交付金を活用 4月～ ガイドブック(11万冊)、HP、デジタルサイネージ(15ヶ所)等によるPR情報発信 9月～ 広告(雑誌、テレビ)等による情報発信	○誘客(PR)活動の展開 10月 四国まるごと幡多まつり(岡山県津山市) 11月 友好・交流都市物産展(枚方市)				
3 おもてなしの向上						
1. おもてなし環境の整備						
(1)四万十川流域観光の拠点施設の整備、機能強化						
◎拠点施設の拡充、機能強化	○四万十川観光遊覧船案内放送の多言語化 (実施主体:四万十川観光遊覧船連絡協議会) ・外国人観光客への案内機能の向上	○観光拠点整備事業 ・四万十川学遊館展示パネルリニューアル ・トンボ公園樹木札整備 ○四万十サイクルロード整備 地方創生企業版ふるさと納税活用事業 実施箇所:四万十川佐田沈下橋右岸から下流の市道 L=2,300m 内容:サイクルロードの路面整備や景観を阻害する樹木の伐採等 ・観光案内機能の充実 観光協会HPのリニューアル ・レンタサイクル整備 クロスバイク(電動アシスト)10台購入 ○市街地史跡巡り等案内看板設置(28基) ○観光誘導看板設置(34基) ○四万十川観光遊覧船関係のインバウンド対策 ・案内看板の多言語化 ・パンフレット作成(多言語) ・HPのリニューアル 他 【再掲】 ○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業 (事業主体:幡多広域観光協議会) 地方創生加速化交付金を活用 12月～ 志国高知幕末維新博に向けた幡多広域観光協議会HPのリニューアル	四万十市(観光商工課) 観光協会 幡多広域観光協議会	◆公共観光施設等 利用者数 H26:172,370人 → H31:180,000人 H27:189,788人		
(2)二次交通の充実						
◎二次交通の運行形態の見直し・拡充と情報発信	○四万十川周遊バス(川バス)運行 4月～9月 中村駅～江川崎駅間(114日間運行) 宿泊とのセットプランの造成・販売	○四万十川周遊バス(川バス)運行 10月～3月 中村駅～江川崎駅間(58日間運行) 宿泊とのセットプランの造成・販売	四万十市(観光商工課) 観光協会 幡多広域観光協議会	◆二次交通利用者数 H26:5,718人 → H31:10,000人 H27:5,896人		

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
観光分野	○しまんと・あしずり号の運行 4月～9月 ・あしずりコース:四万十市～土佐清水市間(68日間運行) ・江川崎コース:中村駅～江川崎駅間(65日間運行) ○しまんと・あしずり号運行協議会の開催 8月 運行状況や今後の運営について協議 ○その他の交通 ・おもてなしタクシーの運行(通年) ・レンタサイクル(通年)	○3月 しまんと・あしずり号の運行 ①あしずりコース:四万十市～土佐清水市間(5日間運行) ②江川崎コース:中村駅～江川崎駅間(5日間運行) ○歴史観光周遊バスの運行 3月～ 市街地及び歴史博の地域会場等を結ぶ周遊バス ○その他の交通 ・おもてなしタクシーの運行(通年) ・レンタサイクル(通年)			
(3)周遊しやすい環境の整備	【再掲】 ○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業 (事業主体:幡多広域観光協議会) 地方創生加速化交付金を活用 4月～ ガイドブック(11万冊)、HP、デジタルサイネージ (15ヶ所)等によるPR情報発信 【再掲:商工業分野と共通】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業 (道の駅「よって西土佐」関連) 地方創生加速化交付金を活用 ・広域観光拠点機能 4月 道の駅にデジタルサイネージ導入	○観光周遊ホームページリニューアル (一社)四万十市観光協会HPのリニューアル ○街歩き観光案内看板設置 ・ランドデザインによる街歩き看板の設置 市街地史跡巡り等案内看板設置(28基) 観光誘導看板設置(34基) 【再掲:商工業分野と共通】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業 (道の駅「よって西土佐」関連) 地方創生加速化交付金を活用 ・広域観光拠点機能 情報の入力更新等デジタルサイネージの効果的活用を図っていく 【再掲】 ○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光連携推進事業 (事業主体:幡多広域観光協議会) 地方創生加速化交付金を活用 10月～ スポーツツーリズムポータルサイトの構築	四万十市 (観光商工課・企画広報課) 観光協会 幡多広域観光協議会	◆周遊しやすい環境づくりが進み観光誘客につながっている ◆外国人観光入込客数 H26:1,341人 → H31:5,000人 H27:1,971人	
○コーディネイト機能の向上 【再掲】 ★一元的な情報発信の促進	○地域おこし企業人交流プログラム 4月～ANA総合研究所から1名招致(H25～継続) 【再掲:各分野共通】 ○シティプロモーション推進事業 地方創生推進交付金を活用 本市の本質的な魅力、独自性を見極め、国内外から本市に目を向けられるコミュニケーションデザイン(コンセプト、メッセージ、キャッチコピー、ロゴデザイン等)をつくり、多様なツール・媒体(WEB、SNS等)を活用したプロモーションを展開 5月～ コミュニケーションデザインの作製委託 6、7月 ワーキンググループ開催(2回) 9月 ワーキンググループ開催(1回)	【再掲:各分野共通】 ○シティプロモーション推進事業 10月 四万十市のシンボル・メッセージロゴの作成 11月～ ロゴを活用したPRの展開検討・実施 シティプロモーション基本プラン(まとめ本)の事業化検討・実施			

分野		上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
戦略の柱						
施策						
アクションプラン 主な内容						
観光分野						
2. おもてなしサービスの充実						
(1)観光地としての市民意識の醸成と浸透						
★市民の参画意識の醸成	<p>【再掲】</p> <p>○地域おこし企業人交流プログラム 4月～ANA総合研究所から1名招致(H25～継続)</p> <p>【再掲】</p> <p>○旅行業の取得 9月 第3種旅行業資格試験受験 ・四万十市観光協会:2名 ・幡多広域観光協議会:2名</p> <p>○おもてなし向上「接客研修」の開催 (講師:地域おこし企業人) ・学校関係者:5回開催 ・医療関係者:3回開催 ・その他:2回開催</p>	<p>【再掲:各分野共通】</p> <p>○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業 (道の駅「よって西土佐」関連) 地方創生加速化交付金を活用</p> <p>10月以降 おもてなし研修及びインバウンド対応研修を実施予定</p> <p>○おもてなし向上「接客研修」の開催 事業を継続</p>	四万十市(観光商工課) 観光協会	◆観光地であることを広く市民が認識し、おもてなし意識と地域の魅力を伝えられる市民が増えている		
(2)リピーター確保に向けた取り組み(特典の充実)						
◎おもてなし感が感じられる仕組みづくり	<p>【再掲:商工業分野と共通】</p> <p>○インバウンド(外国人観光客)受入体制向上事業 (事業主体:四万十市観光協会) 着物で街歩きプラン(KIMONOLOILOI)の販売 4月～ 着物レンタル(呉服店と連携)による小京都中村の「街歩き」体験メニュー</p> <p>【再掲:商工業分野共通】</p> <p>○おもてなし向上事業 (実施主体:四万十黒潮旅館組合) 四万十市産振総合補助金を活用 宿泊とのセットプランの造成・販売等 7月～ ・「玉姫様と通行手形」との宿泊セットプラン (宿泊施設15、飲食店33と連携) ・トンボ王国誘客プラン ・四万十周遊バス(二次交通)との宿泊セットプラン ・「着物で街歩き」との宿泊セットプラン ・「ペットホテル」との宿泊セットプラン ・スイーツ券付宿泊プラン</p>	<p>【再掲:商工業分野と共通】</p> <p>○インバウンド(外国人観光客)受入体制向上事業 (事業主体:四万十市観光協会) 着物で街歩きプラン(KIMONOLOILOI)の販売の継続</p> <p>【再掲:商工業分野共通】</p> <p>○おもてなし向上事業 宿泊とのセットプランの造成・販売等の継続</p> <p>【再掲:農業・商工業共通】</p> <p>○食の魅力を活かした地域振興事業 地方創生加速化交付金を活用 「(仮称)四万十の食研究会」を設立し、地域の食材、食文化の掘起しと磨き上げ、「四万十の食」の開発(アドバイザー招致等)</p>	四万十市(観光商工課) 観光協会 四万十市観光振興連絡会議 西土佐観光推進協議会 四万十市体験型観光受入研究会	◆商工業分野等との連携による多様な仕組み、サービスが生まれている		
4 組織力の強化と観光リーダーの発掘・育成						
1. 観光関連事業者のスキルアップ						
(1)観光関連組織の役割分担と組織力の強化						
○役割分担の明確化とスキル・組織力の強化 ★コーディネーターの育成	<p>【再掲】</p> <p>○旅行業の取得 9月 第3種旅行業資格試験受験 ・四万十市観光協会:2名 ・幡多広域観光協議会:2名</p>			四万十市(観光商工課) 観光協会 幡多広域観光協議会	◆観光人材・組織のスキル(商品企画、営業力等)が向上し、「待ちの誘客」から「動く誘客」にシフトしている	【課題】 ○組織運営の自主財源確保

分野		上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	実施上の課題・計画の変更
戦略の柱						
施策						
アクションプラン 主な内容						
観光分野						
		<p>【再掲】</p> <p>○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業 (事業主体: 幡多広域観光協議会)</p> <p>地方創生加速化交付金を活用</p> <p>日本版DMO候補法人登録</p>				
	(2)異業種との交流・連携の促進					
	<p>【再掲】</p> <p>★異業種交流会の開催</p>			四万十市(観光商工課) 観光協会	◆商工業分野等との連携による多様な仕組み、サービスが生まれている	
2. 観光人材の育成、確保						
(1)地域の観光リーダーの育成						
	★地域のキーマンの発掘、育成	<p>【商工業分野共通】</p> <p>○地域おこし協力隊事業 6名配置 富山地区、大川筋・後川地区、須崎地区、大宮地区、奥屋内地区、半家地区にそれぞれ1名配置</p>	<p>【再掲】</p> <p>○「全国ほんものフォーラムin福島」大会参加 11月 大会参加を通じ、全国の先進事例を学ぶとともに体験メニューの磨き上げ、人材育成にもつなげる</p>	四万十市 (観光商工課・関係課) 観光協会 幡多広域観光協議会 四万十市体験型観光受入研究会	<p>◆地域で核となる観光人材が育成されている</p> <p>◆体験型観光受入研究会 加入団体数 H26:23団体 → H31:30団体 H27:23団体</p>	
	(2)体験インストラクター、ガイドの育成					
	○インストラクター、ガイドの育成	<p>【再掲】</p> <p>○おもてなし向上「接客研修」の開催 (講師: 地域おこし企業人) ・学校関係者: 5回開催 ・医療関係者: 3回開催 ・その他: 2回開催</p>	<p>【再掲】</p> <p>○おもてなし向上「接客研修」の開催 事業を継続</p> <p>○観光ガイドの養成 志国高知幕末維新博に合わせ観光ガイド養成講座の開催 10月～ 計4回</p> <p>○観光ガイド用タブレット購入</p> <p>【再掲: 商工業分野共通】</p> <p>○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業 (道の駅「よって西土佐」関連) 地方創生加速化交付金を活用 10月以降 おもてなし研修及びインバウンド対応研修を 実施予定</p>	四万十市(観光商工課) 観光協会 幡多広域観光協議会 四万十市体験型観光受入研究会	◆観光人材の育成、レベルアップが図られている	
	(3)将来の担い手の発掘・育成					
	★ボランティアの受け入れ ★インターンシップの受け入れ			四万十市(観光商工課) 観光協会 幡多広域観光協議会 四万十市体験型観光受入研究会	◆観光の担い手確保につながっている	